夕刊　九月二十六日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税 一ヶ月拾五錢 廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯部專用三三二五 營業部專用三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

機關說と美濃部處分
眞相發表と再聲明
果して軍部は滿足か
外部の强壓に政府引づらる

【東京國通】陸海兩軍大臣の强硬進言を容れて三項目の決定を見るに至つた政府側はこれに依つて問題解決に一歩を進めたものとして表面樂觀を裝はんとしてゐるが、國體明徵問題發生以來の經過を觀るも政府の處置は事毎に一歩退却を繰返すのみであつて外部の强壓に引づられつゝある、從つて美濃部博士處分に關する司法省の眞相發表及び政府の再聲明も果して軍部の期待と一致するや否や非常に疑問と觀られてゐる、殊に軍部兩大臣より岡田首相に進言せる「天皇機關說信奉の官公吏學者の退職」問題は一木樞府議長、金森法制局長官の進退に就ての善處を暗に要望せるものと觀られるので近く發表される司法當局の美濃部問題の眞相並に政府の再聲明の內容如何によつては軍部は更に政府を追究する事となるべく機關說排擊國體明徵問題の前途は益々多難を思はしめてゐる

飽く迄機關說を一掃
國體明徵を期す
—陸軍首腦部會議で決定—

【東京國通】川島陸相は廿五日午後陸相官邸に今井軍務局長、山下軍事調査部長、橋本軍事課長等を招致し閣議の經過を說明重要協議を行つた結果法相及び首相の確言を一應汲んで司法當局の疑惑一掃處置と內閣の國體明徵措置に關する公表を俟ちその後に於て更に適切なる手段に出で飽く迄も機關說を一掃し國體の明徵を期する事に決定した、而して首相が妄說を一掃、國體明徵徹底に誠意の有無を示すや否やはかゝつて妄說信奉者を官公職より一掃し得るや否やにあり首相が尙依然として優柔不斷の態度を捨てず法相又疑惑を解く方策に徹底を缺く場合に於ては陸相は陸軍部內の强硬空氣を反映して强硬進軍の一途をとるを餘儀なくさるべく海軍又同樣の意見を持してゐるので司法當局の態度決定後に於る軍部兩省の態度は頗る注目すべきものがある

蒲、佐藤兩中將 待命

【東京國通】陸軍辭令
參謀本部附 陸軍中將 蒲穆
同 第十六師團司令部附 陸軍中將 佐藤三郎
同 騎兵大佐 阿久津四郎
待命被仰付

關東局監理部長後任 田中信良氏

【東京國通】大村關東局監理部長の滿鐵副總裁轉出に伴ふ後任は廿五日の閣議で左の如く決定した
正四位勳三等 田中信良
任關東局監理部長

田中新部長は 鐵道運輸の權威

前關東軍監理部長大村卓一氏の滿鐵入りに伴ふ後任は廿五日の閣議にて田中信良氏に決定したが氏は明治十八年九月十五日滋賀縣蒲生郡西大路村に生れ當年五十一才、明治四十四年東京帝大獨法科卒業と同時に鐵道省に奉職昭和二年九月十七日鐵道大臣官房人事課長を振出しに昭和四年七月十二日名古屋鐵道局長に任命され昭和七年一月廿日同局長を最後に官界を退き爾來鐵道省、朝鮮總督府鐵道局、滿鐵の囑託となり今日に至つたもので、かつて中央大學に教鞭を執つてその蘊蓄せる交通政策を講じたことあり大村前監理部長と共に日本鐵道運輸經營上の權威者である、帝大卒業の同期には滿鐵宇佐美理事、滿鐵審査役金井清氏などがあり元鐵道大臣、司法大臣故岡野敬次郎男の親戚に當つてゐる、なほ同氏は性公平無私人格高潔の士でその手腕は各方面より期待されてゐる

新生事件 又もつれる

【上海廿五日發國通】不敬事件を惹起した雜誌「新生」の責任者杜重遠は江蘇高等法院第二分院で懲役一年二ヶ月の判決を言渡された、杜は引續き服役中であるが此の判決を不服とした杜の妻侯恩之は同分院に上訴したところ、上訴は無效であると却下されたので引續いて最高法院に上訴を提議し刑の執行停止を請願中であつたが、傳へられるところによれば最高法院は既に數日前江蘇省第二分院の判決を廢棄に決したと言はれてゐる右が事實とすれば杜は改めて控訴し得る事となつた譯で、問題の不敬事件の再審が行はれることとなるべく成行注目されてゐる

皇帝陛下御進講の 三上博士來京

滿洲國皇帝陛下に御進講の爲來滿の東京帝大教授文學博士三上參次氏は令息進氏を同伴廿五日午後九時着の「ひかり」にて筑紫參議、長岡總務廳長、入江宮內府次長等の出迎へをうけ來京、ヤマトホテルに入つた、同博士は語る
朝鮮には十年前に來たことがあるが滿洲には初めてだ東京で聞いた滿洲と實際に見る滿洲とは大分異つてゐる、各沿線を見て王道の光があまねく行渡つてゐるのには深く感じた、新京には御進講を終つたら二、三日滯在の上滿洲の實際を見たいと思つてゐる（寫眞は中央が三上博士）

西公旗の石王罷免で
內蒙古獨立運動まで進展か

【北平廿五日發國通】地方自治政務委員會が去る八日西公旗の石王を免職した結果今や內蒙古の自治宣言より獨立運動が惹起される形勢となつた

始政三十年を記念
關東局卅年史編纂
國力の發展を如實に示すもの

日露戰役後關東州及び滿鐵附屬地の行政機關として治安の確立に產業、教育等各般にわたつて國策遂行に邁進して來た關東局では來年九月をもつて始政三十年を迎へるが、明治三十九年九月關東都督府が設置されてからこゝに三十年關東局の燦然たる業績を永く記錄保存するために「關東局三十年史」を編纂することゝなつた、右編纂委員會は二十六日午前十時から關東局會議室で行はれ編纂方針並に大綱を協議したが初代都督大島義昌大將以來四都督、關東廳となつてから菱刈長官まで十長官、新機構の下に大使館に附設され南大使に至るまでの關東局史は正に我が躍進的國外發展の歷史である、なほ近く治外法權の撤廢並に附屬地行政權の返還が行はれるので恐らく同三十年史は關東局の最後を飾る靑史であらう

高橋藏相 風邪で引き籠る

【東京國通】高橋藏相は廿三日夜來風邪の氣味で赤坂區壽町の自邸に引き籠り靜養に努めてゐるが廿五日の閣議にも出席を見合せた、風邪は至極輕微なるもので憂慮すべき程ではないが醫師の勸めにより大事をとつて一兩日なほ登廳を見合せ只管靜養する筈である（寫眞は藏相）

華北游記　山口慎一

一五、中原遊藝場（華北最後の夜に）

華北での最後の夜が過ぎつゝある。私は明日は長平丸に乘り渤海を越えるであらう。

今夜、私は天津一の百貨店中原公司の樓上で遊んで來た樓上—その三階、四階、五階そして屋上がつまり中原遊藝場になつてゐて、雜劇、評戲、映畫そして大鼓等々をやつてゐるのである

私は專ら三階の「什樣雜耍」の所で、平頭大鼓、鐵片大鼓、梅花大鼓、滑稽戲などを聞き、鄭（鋼の足で羽根を蹴るあれ）を見た。鐵片大鼓といふのは木の板の代りに鐵片二つを手で操つて使ふもので一寸變つてゐて面白かつた。またそれをやつた李雲霞といふ女が若くて惡くなかつた。それに歌のテンポがブルースみたいな調子で、低音の中にかなり複雜な高低があり娛しめた。梅花大鼓といふのは歌曲の性質によつて付けられた名前であらうか、花筱紅といふ女が唄つたが、情熱的な唄ひ方であつた。

が、葛文濤（これはもう老年に近い男だつた）の唄つた平頭大鼓は堂々たるもので、聽衆の氣持をしつかりと引きずり、その高調の度び毎に「好！」「好！」を連發せしめた。大鼓はジャズなりとの私の定義はこれを見、これを聽けば誰にも首肯されるであらうと思ふ。二角の入場料で晝から夜までを娛しめる中原遊藝場を私は愛する。

「華北游記」—私はこれを殆んど毎日、北平の旅舍に於いて、また天津の寄寓に於いて書き綴つて來たが早くも十五回に達した。華北を去る前夜の今、私は一應鉛筆を擱こうと思ふ。私の文章はまさに文字通りに遊記—遊びの記錄に終始したやうである。尤もそれで良かつた筈だ、と言ふのは、もともとこの旅行が與へられた休暇に若干の日をプラスしてのものであつたからでもあり、又、もとより私として華北の政治的、經濟的情勢の推移に對して注意することを怠りはしなかつたのであるが、ことさらにこの旅行記からはそれを省いたのであつたから。

政務整理委員會の解消とか、王克敏や宋哲元の動きとかが當面の出來事として私の前にあつた、が、それらはすでに電報が報じたであらうし、私はまだ歸京までに數日を要する。華北經濟の近情、華北輿論の實體等については別に改めて書きまとめる機會があるであらう。特に滿洲國に於ける現狀と對照して中國が現に有する文化的遺產とその攝取については私は獨自の意見を持つてゐたが今次の旅行は私の信念を一層强くした。これもぜひ近く書きたいと思ふ。

だが、游記は游記としてここに終らう。旅する心は何かを求める心だといふ。私もそうであつた。そして私は私としての豐かな獲得を土產に私たちの國に歸るのだ。大連、北平、天津の諸知友が私に與へられた好意と便宜とを衷心から感謝して私は北への歸りを急ぐ。—完—（九月一日於天津）（寫眞は萬里の長城）

本溪湖煤鐵公司
日滿合辦の特殊會社に改組

既報 本溪湖煤鐵公司の改組は其後日滿兩當局に於て諸般の準備を進めつゝあつたが日滿交換公文も脫稿したので近く日滿合辦の準特殊會社として新生する事となつた、即ち同社は舊政權時代の不合理なる反日政策の犧牲となり諸種の不當な過怠金の徵收、鑛區の沒收等により極めて不利な營業を繼續してゐたが新國家の成立と共に漸次順調なる業績を辿り今日に至つたが同公司の炭鑛には製鐵原料用の特殊炭の埋藏あり爲めに軍事的意味に於ても國家統制を加へる必要あり今回の改組となつたもので資本金は從來通り七百萬圓で日本側大倉組と滿洲國政府との折半出資で滿洲國法人とし準特殊會社として政府の統制を受けることゝなるもので改組により同公司は鑛區の擴張も認可されることとなつて將來への發展は刮目すべきであらう

岩佐司令官 本社へ訪問

關東憲兵隊司令官から憲兵司令官に榮轉の岩佐祿郎中將は二十六日暇乞挨拶に來社

古城良知氏 立候補挨拶來社

滿電新京支店營業課長古城良知氏は地委選擧に立候補二十六日支社長王國香氏同伴挨拶に來社

宮澤地方部長 新任挨拶

宮澤新任滿鐵地方部長は二十九日午後五時三十分着來京ヤマトホテル投宿翌三十日は各方面を歷訪して新任挨拶をなすはずであるが地方部關係社員に對しては同日午後四時から高女講堂において新任挨拶とゝもに一場の訓示をなし同夜十時發奉天に向ふはず

鹽澤警備課長 新京署員に訓示

關東局鹽澤警備課長は二十六日午前九時より新京署にて署長以下各主任に一場の訓示をなし署內各係を視察した

その日く

□ 明徵問題の政府再聲明、軍部が滿足するか否か、ここが明暗の岐れ道

□ 關東局始政來年で三十年、結局軍司令官が大使に三位から二位一體へ

□ 臨床上の疑から醫師調べらる醫學界のことは素人の窺知を許さぬ處であるが

□ 遞信局で通信夫を事務員に拔擢、事務員から通信夫に下げ解雇すべきものもあらう

□ モヒ中の藝妓道に倒る、この態を見て批評の前その過程に同情の涙

人事往來

▲渡邊寬一郎氏（東京、入山採炭專務）二十五日午後來京ヤマトホテル
▲川島三郎氏（三井鑛山三池鑛業所長）同
▲野口勞治郎氏（福岡縣飯塚麻生商店專務）同
▲麻生太賀吉氏（同社長）同
▲茂野吉之助氏（東京、昭和石炭常務）同
▲四方田茂氏（同若松支店長）同
▲松本忠藏氏（三菱鑛業東京支店長）同
▲長尾　氏（北海道炭鑛汽船技術課長）同
▲吉岡美豐氏（三井鑛山商務部主事）同
▲增田養氏（三井鑛山三池鑛務所長）同
▲岩崎垣義氏（東京撫順炭販賣會社庶務課長）同
▲池上駒衛氏（石炭鑛業聯合會常務理事）同
▲三上參次博士（貴族院議員）同
▲三上進氏（前不動貯金會社常任監查役）同
▲伊澤道雄氏（鐵路總局次長）同
▲渡邊貢氏（北票炭坑技師）二十五日午後來京名古屋ホテル
▲蔭山忠夫氏（名古屋市高等女學校長）同
▲增野常吉氏（同高女教員）同
▲高野亮美氏（同）同
▲西谷實一氏（石川島造船所員）同
▲中村正雄氏（陸軍中佐）同
▲黑田米藏氏（大阪、商人）同
▲辛島寬太氏（滿洲紡績會社常務取締役）同
▲板倉聰一氏（東京公吏）同
▲山口十助氏（滿鐵々道部次長）同
▲上野正七氏（圖們、共益社員）同
▲長田哲二氏（愛媛縣、中學校長）同
▲松本岩太郎氏（德島高等工業學校長）同

團体

▲靜岡縣教育會皇軍慰問團七名二十六日午後九時來京滿業旅館投宿二十八日午前九時五分發ハルビンへ
▲台北州教育會視察團十名二十六日午前九時發南行
▲松山商業學校八十二名二十六日午後二時四十分發南行
▲福岡縣朝倉農蠶學生三十四名二十六日午後二時來京同八時發南行
▲金州農學堂三十九名二十六日午後零時三十分來京二十七日午後十時發南行
▲大連工業專門學校附屬職業教育部生五十名二十七日午後七時三十五分來京二十八日午後四時發南行
▲鐵道教習所電信課第一班四十名二十七日午前十一時三十二分來京同日午後八時發南行
▲炭業滿鮮視察二十六名二十七日午前九時五分發ハルビンへ二十八日午後三時四十分引返來京二十九日午前九時發南行

最後の切札八枚（合作）

光りの彼方に　24　秘密（四）　大林梅子（作）

女中はそして、ご用がおありでしたら、私からお取次致しませうと云つて、何といつても多実枝を出さうとはしないのです。

志村は、ます〱苛々してきて、つひに、織田家へ訪ねて行く決心をしたのです。

×　×

其の夜、志村が麻布の織田家を訪ねて見ると、豫期してゐたやうな玄關拂ひも喰はされず、直ぐ、日本室の應接間へ通されたのです。

かれは、最初、あまりにすらすらと行つたゝめに、むしろ、意外に感じてゐたほどです。しかし、そこには、何かの巧があるのかも知れない。だが、今の志村としては、多実枝に會へると云ふ嬉しさのはうが先に立つてゐたので、それを見て取ることはできなかつた。

女中が、お茶と菓子を運んできて、暫らくすると、廊下に衣摺れの音がきこえて間もなく應接間の外で立止まつたやうです。

そして、さらりと襖の開いた時は、其處に、多実枝ばかりの姿でなく環の、濃艶な花のやうな姿が、多実枝を後にして立つてゐたのでした。

志村は、はつとして眼はず眼を見張らずにはゐられなかつたのです。多実枝が來たらば、何と話し出さうか、何と、切出してこの織田家から救ひ出さうかと考へてゐた矢先、不意に多実枝ばかりでなく、志村の憧憬もしてゐなかつた環の姿が一緒にあらはれたので、かれは、すつかり狼狽してしまつたのです。

環は、嘲るやうな微笑みを見せながら、

『志村さん、よくお訪ね下さいましたわネ？ もう、今日あたりは、きつとお越しになる時分と思つてゐましたのよ。でも、あたしに御用がお有りぢやなくて、多実枝さんですつてね』

『先日は、失禮しました。實は多実枝さんに、少しお話したいことがあつたものですから……』

かういつて志村は、其の先何と云つたものかと、言葉が支えてしまつたのです。

環は、冷やかに笑つて見せながら

『さう、ぢや、あたし此處でお伺ひしてゐますから、ご悠くりお話しなさいよ』

志村は、環の背後に控えてゐる多実枝の姿を見て、何と言つたものかと、その言葉に窮してゐたやうです。

環がゐたのでは、志村として何も話し出すことはできなかつた。まして、織田家に關することであつて見れば、猶更だつた。そして、お互に暫らく、無言がつゞいた——。

志村として、久し振りで見る多実枝は、何よりも先づ、非常に美しくなつてゐたのです。貧しい家にゐて、なり振りにもかまはずはたらいてゐた時は、磨上げられない寶石の美しさでしたが、其の寶石も、織田家に來てからは十分にみがゝれ、そして、手入れがされたので、今は類ひなきまでに十分の光りを放つてゐるのです。

しかし、よく〱多実枝の美しさを注意してみると、其の美しさは以前にも增してゐるが、どことなく寂し氣なやつれの見えてゐることは、見遁しならないのでした。

果して急性腦炎か 臨床上の疑で調べ
輕微な蓄膿症の患者が急死

二十一日午後八時急性腦炎で死亡した本籍佐賀縣佐賀郡新壯寺村井津五三三戸主惠八長女市内富士町二丁目藤井方野田トシ(二二)の死因につき醫師の臨床上疑の點あり目下新京署では主治醫につき

嚴重 取調べを進めてゐる―野田トシ(二二)の死因につき日本橋派出所及び西公園派出所に於て調査の結果本署への報告によれば野田は本月七日頃輕微な蓄膿症に罹り家業の傍ら市内曙町某醫師の診療をうけてゐたが、全快が早いのではないかと考へ十六日電話で其の旨相談すると醫師は「あなたのは輕い蓄膿症だから小手術で一週間もすれば全快する」といふので喜んで十七日入院直ちに手術をうけると其の結果急に四十度前後の發熱し毎日苦悶をつゞけ其の間醫師は大丈夫だと患者を安心させてゐたが二十一日正午頃藤井氏の妻女アサ子さんが見舞に行くと病院では保證金三十五圓手術料四十五圓計八十圓を請求し病室には入つて見ると四十度位の高熱でとても苦しんでおり素人眼にもどうも變なので脈を握つて見ると時々結滞するなど容體が變なので醫師に尋ねると大丈夫だといふので不安ながら一時間位で一たん歸宅したすると午後七時頃電話がかゝつたので飛んで行つて見ると苦悶が激しいので醫師を呼んで食鹽注射をし樣樣を尋ねると「大丈夫だ」といふがどうもおかしいので電燈をつけて見ると口唇が紫色に變じてゐる、これは大變と醫師を呼んでカンフル注射をしたが時既に遲くその時アサさんは醫師を難詰し翌日看護婦にお禮をしやうと病院へ行つて見ると當時の看護婦は罷免されて死亡診斷書には「急性腦炎」となつてゐるなど疑はしい點が多々あるので事情を知るものはいづれも醫師のあまりの處置に憤慨してゐる、なほ同醫師は以前某滿洲國官吏の妻女を同樣の過失にて死に到らしめたことがあると言はれてゐる右樣の報告に基き署では由々敷しき

問題 として嚴重調査を進めてゐる

自動車運轉手の受驗者殺到す
でも續々はけてゆく

國都を目指し續々押し寄せる求職者は日に月にその數を增してゐるがその內試驗に合格すれば就職確實とされてゐる自動車運轉手希望者が斷然他を壓してゐる樣だ、月一回施行される關東局自動車運轉手試驗は所轄新京署で願書の受付並に實地試驗を行つてゐるが志願者は每月百二十名を越へ係員は汗だく／＼である、本月二十八日施行される學科試驗受驗者は甲乙種を合し百三十五名でこの外手續きの關係で來月廻しとなつたものが現在百二十名で新京は自動車運轉手洪水である筈だがこれが續々と採用されてゆく、なほ廿八日の受驗者は本月に限り關東局會議室で施行される

モヒ中藝妓を辿る 不具者の同情
力及ばず福祉委員の手に

日一日と寒さが肌に泌むうら枯れの秋溫い情愛も薄れ勝ちな異郷の空でモヒ中毒に惱み衰れ街頭に倒れた薄倖の藝妓を譲り身は隻腕の不具者で而もその日の糧にも惠まれない中に親身も及ばない

介抱 を盡して來たが力及ばず遂に福祉委員會に縋つて來た―本籍長崎縣西彼杵郡茂木町七六現住所西五馬路天合店止宿村上菊太郎氏(五七)が本月十二日夜日本橋通を通行中しどけなく路傍に倒れてゐる一婦人が「すみませんが十錢惠んで下さい」と呼びかけたので同氏はこれには何か仔細があるに違ひないと譯を尋ねたところ、同女は淚ながらに一切を語つたものである、同女は本籍福岡縣朝倉郡馬田村牛木井ノロ香梅(三七)といひ若くして渡滿し浮草稼業の藝妓をして各地を轉々とし薄倖の日を送つてゐたが落魄の女の常としていつの間にか重症のモヒ中毒にかゝり最近に流れ流れて龍江省截河に辿りつき商賣をつゞけてゐたが何分の重症中毒の身とて商賣も思ふやうにならず在住邦人の情ある計らひで六十圓の旅費を貰つて故鄕に歸る途中新京まで來て旅費を全部費ひ盡し前記街頭に倒れて道行く人に憐れをもとめてゐたものである、村上氏は憐れな物語を聞いていたく同情し止宿先に連れ歸つて介抱してゐたが村上氏も片腕の不具者で定職とてはなく僅かに書を書いて

糊口 をしのいでゐる有樣なので遂に領事館警察に事情を打明けたものであるが同署には救濟の方法なく福祉委員の手に移したので日本橋區福祉委員山下藤藏氏は同女に金五圓を與へ汚れた着物を新調してやり滿鐵社會係の手で奉天の阿片患者收容所へ送ることゝなつた

領事館管內 居住者の國勢調査
豫め知つておくことが必要

來る十月一日帝國版圖內に於て簡易な國勢調査が執行せらるるに當り同日を期し帝國版圖外に在る本邦人に付ても各地領事館に於て右調査を施行することとなつて居るが領事館の行ふ調査項目は本月二十五日附新京總領事の告示第一五號の通り內地人に關しては

一、氏名
二、男女別
三、生年月
四、配偶關係
五、常住地

の五項を調査し之に用ふる調査票は本月二十日から三十日迄に所轄警察署又は警察派出所より配付する事になつて居るから右調査票の記入には左の諸點を注意すること

一、調査票は各世帶及之に準ずるものに配付するを以て配付を受けたる世帶主或は準世帶の管理人又は之に代るべきものは調査票裏面に記載の記入心得及調査票を配付する調査擔當警察官の說明に從ひ調査票表面の記入例に倣ひ十月一日現在に依り記入すること本項に云ふ準世帶とは寄宿舍、病院宿屋、下宿屋、合宿所等にして間借自炊を爲す者素人下宿人の如きは其の世帶の同居人とすること
二、配付したる調査票は十月二日より一週間以內に調査擔當者各戶に出向き蒐集するを以て十月一日中に記入し置くこと
三、遠隔の爲調査擔當者が直接調査票の配付蒐集困難なるときは郵便に依り送付することあるべきに付其の場合は十月一日現在に依り所要事項を記入し直に之を配付先に返送すること
四、在留內地人にして調査票の配付を受けず調査に洩れたることを知りたる時は最寄警察署又は派出所に申出調査票の配付を受け記入提出のこと
五、調査票上部に記載しある在外公館名及調査地は調査擔當者に於て記入するを以て各世帶に於ては之を記入せざること

佛國セロの名手 マレシャル氏 十月日本へ

【東京國通】フランス政府は豫てから音樂による日佛親善を畫策しつゝあつたが之が具體化の第一歩として今回同國樂界に君臨するセロの名手モーリス、マレシャル氏を音樂使節として日本に派遣し、駐日フランス大使館並びに日佛協會等と呼應して日本の學園から技術の優秀なる音樂家を探求し、政府後援の下に留學生として自國に招くことゝなつた、此の爲めマレシャル氏は十月下旬シベリヤ經由來朝することゝなつた

危機一發 轢殺を免かる

滿鐵四平街機關區員機關士淸水勝男氏の運轉せる下り第三百十七貨物列車が二十五日午後四時十分ごろ新京驛西側からまさに構內に進入しやうとする時重荷を擔いだ一滿人男が列車に氣づかず軌條內に立つてゐる のを淸水機關士が發見して急停車危機一髮の所で轢殺を免れた、なほ鐵道事務所では直ちに同氏の人命救助表彰の手續をとつた

もぐりの竊盜

本籍朝鮮慶尙北道鬱陵島道洞生れ金備萬(二八)は本籍福岡縣八幡市東鐵町二丁目十二番地藤山正吉と本籍氏名を詐稱して寬城子頭道街五色食堂の板場に住み込み稼業中二十五日午後一時頃興津信一方に至り洋服を購ふ如く裝ひ同店員某の洋服上衣のポケットから現金十五 入りの蟇口を竊取したこと發覺領警署員に逮捕された

附屬地の道路がよくなる

交通頻繁のため附屬地道路の破損著しく地方事務所土木係では豫算の關係上充分の補修をなすことが出來ず對策に腐心中であつたがこの程漸く豫算外支出一萬圓の諒解を得たので近く附屬地內道路破損個所の補修工事に取りかゝることゝなつた

“滿鐵獨身寮 爆彈に見舞はる
寮友は逃げ遲れ救を求む”
この想定で防火演習

“敵機の襲來とゝもに投下した爆彈および燒夷彈に見舞はれた滿鐵社員獨身寮白山寮三階の一室から火を噴いて盛に燃燒中隣室には逃げ遲れた社員多數が救を求めてゐる”!こんな想定に基いて月末の某日(特に日時を秘す)に白山寮防火班は滿鐵消防隊の應援を得て白山寮消防隊聯合防火演習が大々的規模で實施される通報、非常警報、避難、救出、防火作業等の實施研究をなし寮員の沈着、機敏統制ある行動を涵養訓練し合せて防火設備の機能を點檢するのである

人氣湧く 麻雀選手權大會

來る二十九日記念公會堂で行はれる本社後援大日本麻雀聯盟新京聯合會主催の第一回オール新京麻雀選手權大會もあと三日に迫つていよ／＼愛雀家の人氣を呼んで申込者殺到してゐるこの分でゆくと定員の三百名は優に突破してしまふといふ前人氣に聯合會では牌や卓の心配やら賞品の整理メンバーの組合せで汗だくの態である、ズラリと平本洋行のショーウインドーに並んだ賞品の山が吾こそと意氣込む天狗連の手にされる日を待つばかりで昨今在京一千の愛雀家の間では大會の話で持ち切りとなつてゐる、三莊戰の高點法、あわよくば絹布團と本社の優勝盃が獲られるのだ「振り込みさへしなければ十等圈內は確實だ」と勝算を語つてゐるファンもゐる、マイナスだつて四十等選にはいつてライター附シガレットケースを貰へないとも限らない、螢穴生活の多を迎へて麻雀熱はたら／＼と全新京に擴つてゆく「麻雀は高尙な室內遊戲である、それが麻雀で賭博をする極く僅かな人があつた爲に一般からとかく誤まつてみられてゐるのを正道に返さう」といふのが本大會の開催理由である、本社ではこの行を勢んにし麻雀道を確立するために優勝盃を贈ることゝなつた

寫眞說明 (上)優勝者に對し優勝盃として贈る本社優勝盃 (下)右第二優勝者に對し副賞として贈る優勝副賞大日本麻雀聯盟新京聯合會盃

黃松甸南方で
列車襲擊匪を擊破

【吉林國通】二道河、黃松甸間に於る列車襲擊匪を追擊中の瀧川部隊○○名は廿三日午後○時半頃黃松甸南方約二十キロの地點に於て列車襲擊匪と覺しき共產匪約百名と遭遇警察隊と協力激戰一時間餘にしてこれを南方に擊退、目下尙追擊中であるが本戰鬪に於る敵の遺棄屍体五、その他拳銃、彈藥、宣傳ビラ等多數鹵獲した

集金を橫領

新京西七馬路二十六號上田宇作方中川義人(二三)は蓬萊町一丁目志岐組より六十圓を受取るべく託されたのを奇貨として二十四日志岐組より前金六十圓を受取り橫領着服酒色に費消したことが發覺新京領警署員に取押へられた

滿鐵ブラス バンド練習

新京滿鐵ブラスバンド樂手第一回會合は既報の如く二十五日午後七時から白菊町會館において開催今後の對策を協議したが樂器の到着するまで暫定的に每週火、木の兩日午後四時半から家事講習所において音樂科の敎習を行ふことになつた

沼田勇氏逝く

危篤に陷つた辯護士沼田勇氏は二十六日午前九時十分急性肺炎を起し自宅で逝去した、明二十七日午後四時自宅出棺午後五時朝日通ひとのみち敎團支部で告別式を執行するはず

故沼田氏は岡山縣御津郡豐岡村の生れ大正八年關西大學法律科卒業、同時に兵庫縣警部に任官されその後警視廳警部たること滿三ケ年大正十三年群馬縣沼田町警察署長となつたが、辯護士試驗に合格するとゝもに東京で開業、昭和七年五月來京して今日に至る、現に新京地方委員であり今回の地方委員選擧にも再起の豫定であつた、享年四十八歲なほ遺族としては夫人を始め三男二女があり、なほ春秋に富む氏の急逝は各方面から惜しまれてゐる

田代家の不幸

市內祝町田代元三郞氏長女キヨ子さん(一)は二十六日死去二十七日午後四時曙町大正寺で葬儀が營まれる

日立鑛山 崩壞 坑夫卅餘名生埋

【助川國通】廿五日午前零時半茨城縣日立鑛山石灰山は折柄の暴風雨で突如大音響と共に崩壞崖下の坑夫小屋十八戶を埋沒三十餘名埋沒、そのうち二十六名は親子相抱く悲慘な死體となつて發掘され、酸鼻を極めてゐる

群馬縣に大旋風

【前橋國通】廿五日午前八時頃群馬縣新田郡笠掛村に大旋風起り同村農家五十四戶を捲上げ家屋をメチャメチャに破壞し死傷四十五名を出した

街の話題

塚本、後藤兩家の結婚披露宴

滿鐵新京醫院長塚本良禎氏長女春江孃と滿洲電業社員後藤五男氏との結婚は、原口純允氏夫妻の媒酌により二十五日新京神社で擧行、同夜六時から公會堂で披露宴が張られたが日滿各界の人士四百名近く列席、原口氏より新郎新婦を紹介し、阮文敎部大臣來賓を代表して祝辭を述べ開宴、御祝儀として謠曲高砂、箏曲新高砂、八千代館連の素囃鶴龜舞踊連獅子等があり、其間入江電業副社長始め塚本、後藤兩家の交友知人關係が交々起つて祝辭を述べ非常な盛宴をつゞけ十時頃漸くおひらきとなつた

自轉車業組合 役員決定

既報の通り廿五日夜ダイヤ街でつち生洲で創立總會を開いた新京の自轉車業組合は左の通り役員を選擧、何れも就任を受諾した
組合長大本商行大本六二氏、副組合長松田商會松田彌三郞氏、幹事(會計)澤山商會澤山勝太郞氏、同(庶務)池畑商會池畑健一氏、同 同和商會下村岩太郞氏、同 工藤商會工藤榮一郞氏、同 森商會森一郞氏、同 宮崎洋行宮崎敬吉氏

寺口、佐々木兩家おめでた

昨二十五日、寺口武夫氏は上野田人氏夫妻の媒酌で舊姓佐々木ナナ子孃と結婚同夜賓宴樓に知友を招き披露の盛宴を張つた

今晚の主なる放送番組

▲七・二〇管絃樂 大阪―桃谷演奏所より中繼―大阪放送交響樂團 ▲七・五〇哥澤(一)戀すてふ(二)土手節(三)わしが國さ(東京)哥澤芝菊 ▲八・一〇ラヂオ小說わら人形の婚(東京)澤村田之助

けふの銀相場

國幣對金票	[illegible]
鈔票對金票	[illegible]
國幣對鈔票	[illegible]
現大洋對鈔票	[illegible]

暴風雨の被害全國的に甚大

【東京國通】廿四日來全國的に襲來した暴風雨は出水、山崩れ等被害甚大で東海道線、上越線沿線等交通杜絕、汽船の行方不明、農作物の全滅等被害甚大である、東京市內の浸水家屋數萬に及び一時道路は河と化し交通も杜絕した程である

大連實業クラブ 臺灣遠征

【大連國通】滿洲選拔野球大會に優勝した大連實業クラブ一行二十名は平田監督に引率され十月十七日より三日間臺灣總督府主催の施政記念野球大會出場のため約四十日の豫定で昨廿五日出帆のうすりい丸で渡臺した、途中二十八日より三日間小倉球場で開催の西部日本都市對抗に出場し歸途は內地に渡り東京大學チームと一戰を交へる筈

小林警部 着任挨拶

瓦房店署から新京總領事館署へ轉任高等主任を命ぜられた小林定義警部は二十六日着任挨拶に來社

六大學リーグ 早立一回戰 立敎勝つ

【東京國通】早稻田對立敎第一回野球戰は五A對四で立敎勝つ、スコア左の如し

早大	0	0	0	0	0	1	1	2	0	4
立敎	0	0	0	0	4	0	0	0	1	5A

仙人掌

ナナちゃんが本當のマダムになりました、キャピタルのダンサー諸孃を代表して披露の宴に連つた千葉さん、「いゝわねえ」と感慨一入深き面持でした▲ロートル洗線型こと愛子にすみ子、亞細亞會館へ轉じました、▲南新京驛のあたりへ行つて來たです、溫泉旅館てのがあります、バー上海と言つて格納庫型の家もあります▲昨報十六ミリ映畫の件はその後配役に變更を來しました、何れまた紹介します

天氣と氣溫

明日の天氣 北西の風晴
日の出 午前五時三十一分
日の入 午後五時二十九分
月の出 午前四時五十七分
月の入 午後四時五十分
けふの氣溫 最高 十九度二 最低 六度七

新京地方委員 辯護士 沼田勇儀豫而病氣中の處本日午前九時死去致候間此段御通知申上候
追而明廿七日午後四時自宅出棺新京朝日通ひとのみち教壇新京支部に於て告別式執行仕候
昭和十年九月二十六日
新京入船町四丁目
男 沼田作間
親戚總代 沼田隣一
秋山勝也
友人總代 大原萬千百
片岡孝明
宮本信七
入船町々內會長 小澤禎吉郞

本支部奉仕員幹事沼田勇氏二十六日午前九時十分歸神致シ候間此段一般信徒諸氏ニ御通知申上候
昭和十年九月二十六日
ひとのみち教團新京支部
奉仕員會長 籠谷保

本會々員沼田勇氏廿六日午前九時十分逝去被致候ニ付此段謹告仕候
昭和十年九月二十六日
新京辯護士會
滿洲國辨理士會

長女キヨ子豫て病氣滿鐵新京醫院入院加療中の處廿六日午前三時死去致候間生前辱知諸彥に謹告候
追而葬儀は途中行列を廢し二十七日午後四時曙町長春寺にて相營申候
昭和十年九月二十六日
父 田代元三郞
親戚 一同
友人 一同
祝區町內會總代 田中卓二
福岡縣人會總代 濱田豐樹

貨物運賃改正 大體諒解成る
國鐵と總局打合せ

【大連國通】國線の貨物運賃制度統制に伴ふ賃率改正に關する鐵路總局、滿鐵間の打合せ會議の結果

一、總局の賃率改正
二、社線國線貨物等級統制は大體双方諒解に達し總局側改正賃率實施上の技術的方法を決定の上滿鐵重役會にかけ交涉監督部の認可を得て實施の段取りとなつた總局の賃率統制は現行遠距離遞減制即ち奉山線基礎運賃キロトン、一キロ三錢五厘及び京圖線の距離比例制キロトン、一キロ三錢並にその他の各鐵の距離比例制キロトン、一キロ三錢五厘の三種を全部遠距離遞減制に改めるもので貨物等級を六級に分ち一般貨物の最も多い三級品に對し一車扱ひを行ひキロトン、一キロ三錢三厘乃至三錢五厘の賃率を制定せんとするものである、又社線と國線の等級統制は現在國線の六級に對し社線が四級に分れてゐるので社線の等級を六級に改め總局と調和を圖らんとする方針である

狼狽的踏み物目立ち强氣の買進みと共に先限は八百七十三圓と去る十九日の高値を遙かに上拔いて寄付き結局八百六十九圓と引けたが、需給兩方面の强氣的狀勢は一向變化すべくもないから人氣は全く天井知らずの有樣となつてゐる

支那から日本經濟視察團

【上海廿五日發國通】日本經濟視察團は愈々十月六日上海丸で日本訪問の途につくこととなり團長吳鼎昌（邊業銀行總理）以下視察團十五名の顏觸れも愈々決定したので、卅日上海に於て第二回の會合を行ひ日程及び調査內容を決定する筈である

櫻ビール再設立

【奉天國通】一時解散となつた康德ビール會社は親會社たる櫻ビールの腰入れにより再設立されることゝなり木村櫻ビール社長が兩三日中に來奉し本格的設立準備を爲す事となつた、新會社は資本金百萬圓全額拂込みとし株式は一般に公募せず全部發起人に於て引受けと爲す豫定である

期待される鐵道の一元化
職制、經營の二段制

【大連國通】全滿鐵道の一元化問題は松岡總裁の方針に基き宇佐美理事を中心に研究されつゝあるが、大村氏の副總裁就任によつて同問題は急速に展開すべく豫想される、即ち全滿鐵道の一元化は松岡總裁抱懷する鐵道政策の根幹を爲すもので全滿洲の鐵道を單一經營下に置き職制上の一元化を計る手段を前提とし、次で總局の收支財政公開を機に經營、會計まで一元とした實質的一元化に入るを窮極の目的とする、二段制によつて全滿鐵道を完全に一元化せんとする方針である即ち「單一經營下に於る職制上の一元化」は滿鐵々道部及び總局を機構的に統一して單一の最高機關とし、この下に滿鐵鐵道部を一局とする鐵道局を設け、總局下にある奉天、チチハル、吉林、ハルビン鐵路局の外に北鮮鐵道管理局線を一局とし全滿鐵道を六局に分けて綜合經營に當り別に鐵道建設局を管轄內に入れて常道化する新線建設に當らんとするものである、この組織は總局の收支が公開されざる期間に於ける暫定のものである事は勿論であるが之が實現までには尙滿鐵と總局の給與制度統一其他の難問題が橫はつて居り松岡總裁が之を如何に裁くかゞ與味を惹いて居る

歐洲よりの對米金現送契約 本月に入り既に一億弗

【ニューヨーク二十五日發國通】歐洲から米國への金現送契約は月初以來二十日目で九千四百萬弗の多額に上つてゐるが、廿三日も總額一千百七十萬弗に上るが金現送契約成立した內譯左の通り

（單位一萬弗）

英國より	六九〇
佛國より	三一〇
和國より	九〇
印度より	八〇

大豆化學工業 淸津に新工場

朝鮮窒素系資本による大豆化學工業會社では今回いよ〳〵淸津に工場を設置することとなり資本金も一千萬圓から二千五百萬圓に增資し派生事業の大擴張を行ふことになつた第一期計畫として大豆一日の處理能力五十キロトン機を四台としこれにより一日二百キロトンの大豆を處理しようとするものである、これが完成すれば更に倍産計畫に着手すべく將來は一日の大豆處理能力一千キロトンに達せんとするものである

供給不足懸念に 生糸相場 天井知らず

【東京國通】休日前立直り模樣を示してゐた生糸市場は惡天候による秋蠶の全國的不作から供給不足懸念一段と濃厚化し更にニューヨーク生糸は十セント方の上放れを現はしたので實需は相當期待するものありとされて昨朝は軟派の

十ケ年計畫で 南洋群島開發案
四千萬圓の繼續事業で

【東京國通】拓務省では南洋開發の重要方策として先に南洋群島開發委員會を設置し農工、漁業の諸産業を始め交通通信等の各種調査の爲南洋群島に專門家を夫々派遣して調査に當らしめてその結果を待つて南洋廳と協力し同群島開發の具體案を練りつゝあつたが過般林南洋廳長官が明年度豫算折衝の爲上京したのでこれを機會に連日拓務省關係官との間に協議を進めて居るが群島開發計畫の大綱は左の如きもので之が成案を得次第南洋群島開發委員會に相談の上明年度より之が實現に乘出す筈である、即ち南洋群島開發は前回の專門家の調査研究を基礎とし明年度より向ふ十ケ年計畫、總豫算四千萬圓の繼續事業とし農業、漁業を主とするが之が開始には內地より移民を募集して大々的に從事せしめ初年度二百戶、一千名の移民を送る計畫で群島の農耕地五千町歩を開墾し主にパ

阿片法取扱 手續を改正

蒙政部訓令によれば今般阿片小賣人の保證金額を改定し百圓としたる結果、大同二年五月十九日興安總署訓令第二三一號阿片法施行令取扱手續中次の通り改正された

省長は保證金に對し寄託の翌月より年利率五分の復利息を付す指定を取消し、又は保證金を沒收する際或に還附する際に於て其前月迄の利息を計算し最寄中央銀行を通じ寄託者に支拂ふりこととなつた

佛系の帝國酸素會社 近く滿洲工場設置されん

【奉天國通】フランス系資本の帝國酸素會社の奉天進出問題は地元酸素業者の反對により行惱みとなつてゐたが滿洲國實業部當局に於て愼重考慮の結果近く同社の滿洲工場設置に許可を與へる事に決定した、仍つて同地では正式認可と共に鐵西工業土地會社に對し工場敷地三千坪の借地申込みを爲す筈で既に借地內交涉を行つてゐる

(十七)
新京滿人商舗 大馬路の卷
その四

紙と鉛筆をもつて大馬路を歩く、路行く滿人諸君には筆者は風變りな行人に見えるのであらう、立ちどまつて見てゐるひまな連中もゐる
×
△廣記當
もちろん質屋、これと並んで
△天保當
といふのがある、日本人には變に響くが「天が保つてくれる」といふ安心出來る質屋なのであらう
△新發長
ここでは細やこんぶや鹽を賣つてゐる
×
△澂江浴池
むろん風呂屋、ここの對聯か物々しいから書いて來た、次の通りである
　澡德浩身關湯馥郁
　春風沂水童冠歌遊
「歌遊」とは又ゆつくりしたものだが、滿人諸君にとつては風呂も享樂の一つの場所であることがこれでも示されてゐると思ふ
×
△體廷大藥房
なあに、そんな大藥房といふ程のものぢやないやうだ
×
△有榮洋行
ここの看板が又振つてゐるから特に紹介して置く、曰く
本店ハ專ラ木製器具家具寢台籐椅子簞笥机等一切製造ス
×
△福順祥
これは煙草その他を賣つてゐる店である
×
大馬路は長い、まだ續く

土建ニュース

インアップルの栽培に從事せしめると言ふのである

決定工事
▲新京消防署新築工事 ●需用處營繕科
落札 四萬五千圓 蔦井組
四五、九〇〇、一 四先公司
四六、二〇〇、一 池內市川組
四六、七五〇、一 松川組
四八、四〇〇、一 森本組
四八、五〇〇、一 草場組
四八、五五〇、一 服部組
四八、六〇〇、一 上木組
四八、八〇〇、一 梅本組
四九、七〇〇、一 菊地組
▲八島通り小學校々庭土留築造其他工事 ●新京地方事務所
落札 七千四百五十圓 三田組
七、七五〇、一 福井高梨組
七、八八〇、一 長濱德市

購買落札 ●滿鐵用度事務所
八、五〇〇、一 吉川組
八、八〇〇、一 長谷川坂本組
九、四〇〇、一 錢高組
一、ゴムホース口徑一吋半 カップリング付 四本 一五六、〇〇 睦商會
一、ピストン（フォード）一二ケ 三〇〇
一、滿洲モータース
一、カバーボールト 七〇〇ケ 三六、五〇 共榮
一、眞空管 二二ケ 九六、六〇 伊關
一、アンティ線 四〇〇M 一九、六〇 同
一、投藥瓶 六〇〇ケ 四〇、〇〇 霜下硝子
一、セルロイド 一七打 四〇、八〇 水上
一、洋式手廻吹子 一台 三三、〇〇 協昭洋行
一、スピートメーク ケーブルケーシング 一組 三六、〇〇 大同公司
一、AOプラグ 二〇ケ 三四、〇〇 間
一、ピストンリング 一二ケ 一五、〇〇 同
一、床飯 一六打 五六、〇〇 西山洋行 ●需用處用度科
一、カード箱 五ケ 二六〇、〇〇 熊平商會
一、パンプレット 二四〇、〇〇 双發洋行
一、ケント紙（T・H） 五〇枚 一七、五〇 鮎川洋行

長壽酒

世界市場でのわが國産業のめざましい活躍は、爲替關係の有利、豐富且つ適合性を發揮する比類なき勞働力各種企業設備、特は生産手段工業の異常な進歩等幾つもの理由が考へられるが、今日の世界的不況の中に先進諸國を壓倒して世界市場に堂々の巨歩を占めたのは各國の驚異の的となつてゐる▲所で近時、在來の原料半製品の輸出で占め來つた貿易內容が、今や完成財、生産手段特に機械類に代りつゝある現象がそれとてもわが國工業の飛躍的進歩を示すものではあるが、一面わが國民經濟に暗影を投ずるものとして、機械輸出不可論が起つて來たのが注意される▲例の蘭印問題が喧しかつた折り一部機械業者が紡績機械を蘭印に輸出して國賊呼ばはりをされたものだ、こうなると問題は機械業者にとつては咽喉を扼する生死の問題となつて來る、詳しくは又稿を改めて論じよう▲「健やかに育てば、育ち過ぎたりし」

九月二十八日 舊八月二十三日 金曜 丙午 先勝 收 牛宿 七十日

●一白の人 難航を續け漸く港に歸還し得たる船の如し 甲と乙と癸が吉
●二黑の人 盛運なれども自ら墓穴を掘るの恐れある日 辛と壬と丑が吉
●三碧の人 揖を失ひし船の如し天運に任せ成行に從へ 甲と乙と丑が吉
●四綠の人 觸る可らざる事に手を附けて失策を招く日 乙と庚と丑が吉
●五黃の人 勇猛心を起し倒れて後止むの意氣あれば吉 庚と子と癸が吉
●六白の人 地味に進めば福德自ら入り來る良運なる日 庚と辛と癸が吉
●七赤の人 弱を以て强を抑へ柔を以て剛を制するの日 丙と丁と庚が吉
●八白の人 利益も相當に擧

商況欄
（九月廿六日前場）
海外經濟電報

▲米棉
現物 一〇仙九〇
十月限 一〇仙五〇
十二月限 一〇仙五五
一月限 一〇仙五九
三月限 一〇仙六五
五月限 一〇仙七〇
七月限 一〇仙七八

▲印棉
ブローチ 二〇七留比
オームラ 一八八留比
ベンゴール 一四一留比

▲市俄古小麥
十月限 九八仙四分一
十二月限 九八弗八分五
一月限 九八弗二分一

▲カルカッタ麻袋
當筋 二五留比四分一
鐵筋 二二留比二分一

米英爲替、米支爲替、米日爲替、英日爲替、英支爲替、英佛爲替、印日爲替、スチール、アナゴンダ等（數値判讀困難）

金銀市況
●上海標金 ●大連金鈔票（數値判讀困難）

爲替相場
▲上海爲替 ▲大連爲替 ▲阪神日米爲替 ▲阪神日英爲替
●哈爾濱國幣金票 ●奉天國幣沙票 ●安東國幣金票 ●奉天國幣金票 ●大連沙票與大洋 現物・九月廿八日限・十月十三日限 寄・引・出來高（數値判讀困難）

株式相場
▲大阪株式（短） ▲大連株式（短） ▲奉天株式（短） 大新・東新・日産・五品・豆新・鈔新・東新・滿鐵・二新・日産・鐘新・東新・滿取等（數値判讀困難）

商品市況
▲大阪棉糸 ▲大阪棉花 ▲大阪人絹 ▲神戶豆粕
特産市況
▲大連大豆 豆粕 豆油 高粱 小麥 ●哈爾濱大豆
新京取引所市況（九月二十六日前場）
●大豆 現物（一石値段） 定期（混合百斤値段） 高粱 ●鈔票對金票 ●國幣對鈔票 ●國幣對金票（數値判讀困難）

岩佐前憲兵司令官閣下送別會開催
今般御榮轉の岩佐前憲兵司令官閣下の送別會を左記により開催仕り候間振つて御參加願上度此段廣告候也
主催 新京總領事 川村博 新京地方事務所長 武田胤雄
記
一、日時 九月二十八日（土）正午
一、會場 新京ヤマトホテル
一、會費 金五圓也（會券引換へに申受く）
一、申込個所 新京地方事務所庶務係（電二〇一三番）
一、締切 九月二十七日午後四時

下宿增築完成
七日以來增築中の處今般竣工に附舊に倍し御利用願ひます
十疊、六疊、四疊半、計三十餘室
設備一切完備料理は內地專門コック
●一泊及短期宿泊歡迎●
簡易旅館並ニ高等御下宿 新京東二條通八島小學校前 八島館 電話五二六四番

賣家廣告
吉林一等目拔、場所料理屋新築家屋（都合ニ依リ賣渡シタシ）御問合セハ左記へ御願致シマス
新京東二條通八島小學校前 八島館 電話五二六四番

讓り店
祝町二丁目目拔の場所目下盛業中なるも家庭の都合上至急讓り度し御希望のお方は左記へ
祝町二丁目二十番地 小川生

貸店舗
所在地 日本橋詰
場所 新京百貨店內
委細御來談乞ふ
申込所 新京百貨店蓄音器部 電話三一六一番 四八七六番

女中募集
年齡十七、八歲以上身体强健なる者
祝町二丁目太子堂前 毛糸の店 紅屋 電話六一〇三番

百貨店式食堂サービス孃募集
十四才ヨリ二十才マデ 十五名
同滿人 五名
希望者ハ本人來談午後一時ヨリ四時マデ
吉野町一丁目 日乃出屋食堂部（近日開店）

學生募集
創所 大同二年十一月
立在 新京室町二丁目
文敎部大臣認可 新京工學院 電話二〇二七番
本科一期 補欠若干名
入學資格 中等學校三年修了以上
願書締切 九月二十七日
入學試驗 十月一日
新學期 十月五日
學則 郵券二錢封入申込ノ事

帝都キネマ
―ホール開設ニ付キ―
經營希望者ハ事務所迄來談ヲ乞フ

民刑一般法律事務
辯護士 小西曾一
新京朝日通八十三番地 電話三八八三番

朝！ノーシン一服 かそられ 会社へ

帝都キネマ
料金 階下壹圓
二十一日より 六日間
	第一回	第二回	第三回
ヤピオチエ		2.05	6.30
島 實		2.40	7.10
香 誕 龍	12.00	4.25	8.50
終り十一時

新京キネマ 電話二〇六八番
階下 七十錢
廿七日より四日間公開
日活特作と P.C.L のちよつとおだやか組み番組
十二番の聖歌 日活特作 サウンド版 主演 小杉勇・島耕二
天明かくらり草紙 日活時代劇 サウンド版 主演 澤村國太郎・川京子
三色旗ビルディング P.C.L トーキー 原作・徳川夢聲 主演 神田千鶴子

長春座 電話三一三一番
料金八拾錢 毎日晝夜三回
二十六日封切（四日間） 十時半終り
舞の刄血	2.47	6.35	
スーコン	12.00	3.53	7.42
愛可頭船	12.24	4.07	7.57
技競上水米日	1.28	5.11	9.02
女の園樹果	1.38	5.21	9.12

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税 一ケ月拾五錢
廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯部專用 三二二五 營業部專用 三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

多田司令官の宣明響く
對北支具体方針 近く確立されん
關係閣僚會議を開く

【東京國通】天津駐屯多田司令官は廿四日日本記者團に北支五省の徹底的明朗化のため反滿抗日分子の一掃を圖り、之が爲には經濟的に北支を國民政府より獨立せしめるも止むを得ない、赤化防止工作上から五省聯合の自治体結成に援助すべしとの態度を宣明したに對し、軍中央部は何等意思表示をしてゐないが岡田首相をはじめ各閣僚は出先軍部の北支政策に對し大なる關心を有し、廿六日の閣議後各大臣間に意見の交換があつた模樣で政府は近く關係閣僚會議を開き帝國の具體的新方針を確立の筈である

日本の對支政策の第二段準備工作
支那紙沈默、外字新聞の反響

【天津廿六日發國通】廿四日多田司令官より發表されたパンフレットは相當センセーションを捲起したが、支那紙は何れも觸らぬ神に祟りなしの態度で取扱はず、たゞ大公報が日本は支那當局の態度に依然不滿を抱いてゐると述べたのみである、一方外字新聞方面には相當の衝動を與へ當地ピー・テイー・タイムスは社說を掲げて曰く
日本の對支第一段工作は塘沽協定の成立とその實施により終末を告げ、今や第二段への準備に入れるものと觀るべく多田司令官の驚くべき明瞭なる聲明によりその眞意を把握する事を得た
今後日本は愈々北支に對し具體的工作に乘出すことであらう

外蒙代表一行 再度の乘込み
二十九日滿洲里着

滿洲國チタ領事よりの報告によれば滿洲里會商に臨む外蒙主席代表サムボー氏以下外蒙代表一行は九月二十日首都ウランバートルを出發した、尙第一次會商に出席したドクスルン書記長は今回は病氣のため隨行せず代理としてブルボドルヂ氏が出席しストレリニユヴ、ルデンコー、ブイリニコーワ、ヂエレブトソーワ、バロモー、ゴロムイトブの六氏並に技術勤務員としてツリトム氏が隨行してゐる、一行の滿洲里着は二十九日のはず

政友僅に民政凌駕
府縣議當選

【東京國通】廿五日の府縣會議員選擧は岩手、石川の一部及び新潟、山形、福島の三縣一部開票したが、廿五日迄の當選累計左の如し

黨派	當選
政友	一三六
民政	一三一
國同	八
無産	九
其他	四
中立	一三

電々職制改正
認可と同時に

【大連國通】既報、電々會社の職制改正に就ては十一月上旬本社新京移轉を前に實施の運びに至るものと觀られてゐるが、目下申請中の認可は遲くとも本月中には到着の見込みで之と同時に退職手當規定の制定、給與制度の改正等の實施をも併せて行はれるものと豫想される、因みに職制改正案による管理處增置問題は管理處の名稱を管理局と改稱大連、奉天、新京、ハルビン、チ、ハルの五局とこれに承德地方局を加へて六局とし、これが管轄區域は通信線の配置狀態を考慮しつゝ大體各省別に該當するやう編成されたもの〻如くである

電業會社株主總會
配當六分決定

滿洲電業會社では廿六日午前十時から同社會議室に於て臨時株主總會を開催、定款變更案を可決し、次で第二回定時株主總會に入り當期利益金四百九萬六百七十一圓八十二錢のうち株主配當金を二百七十萬圓即ち年六分に決定十一時半散會した

定款變更さる

廿六日の滿洲電業會社臨時株主總會に於て同社定款變更案が可決されたがそのうち特に注目すべき點は第七條の追加である、即ち同會社の株式は日滿兩國政府、公共團體、條約により設立したる法人若くは臣民又は兩國の法令の何れかにより設立したる法人にしてその議決權の過半數が兩國政府、公共團體、法人又は臣民に屬するものに限り之を所有することをとくと定めたことでこれにより同社が日滿兩國の特殊會社たることを明確に規定してゐる

三候補もかけて 聊か拍子拔け
人氣を呼ぶ金朝鮮人代表
地委選擧愈よ迫る

地方委員の改選もあと六日に迫り各候補者選擧事務所では油斷大敵とばかり秘策を凝らしてゐるが、相當の激戰を展開するものと各方面から注視されてゐた當初の豫想に反し期日の切迫した廿二日入江理氏について突如佐藤宇治太郎氏の立候補中止の聲明あり昨二十六日には沼田勇氏の逝去によつて三名の候補者を減じて案外力拔けのした觀を呈して來た、一方選擧人名簿の修正も二十八日を以て締切り二十九日に確定することになつてゐるが今日までに修正の申出もなく五千六百二十二名の投票は地方事務所必死の棄權防止運動にどの程度まで喰ひ止められるか市民に直接利害關係を有する重要問題を控へて市民政治思想のバロメーターとして各方面から注視されてゐる、なほ現在立候補者數は前記三名を減じて日本人十八名、朝鮮人一名、滿人五名計廿四名であるが右のうち滿人の當選は一名乃至二名とみられ日本人十八名は全部當選圈內に入るものとみられてゐるも、或は一名位の落選者をみるやも知れない、なほ朝鮮出身唯一人の候補として人氣を呼ぶ金道根氏も滿人方面に必死の運動をつゞけてゐるので氏の當落は非常に興味を呼んでゐる

立會者決定

地方委員會委員選擧における立會者は二十六日左の四氏に決定した
新京鐵道出張所長 古川達四郎
正金銀行新京支店長 栗原重康
輸入組合理事 久末吉次
辯護士 勘崎仙英

鐵道貨物とゝもに旅客運賃も大改正
値下と共に國鐵線の統制へ

【奉天國通】鐵路總局に於ては滿鐵社線並びに國線の貨物運賃の大改正と同時に總局設立以來の懸案たる全國鐵線旅客運賃の統一並びに合理的改正を斷行するに決定新旅客運賃實施準備を急いでゐる、新運賃の實施時期は大體貨物運賃改正と同時となる筈で十一月一日乃至十二月一日と見られ、而して國鐵現行旅客運賃率は四種に分れ
一、イ號 一等一キロ四錢五厘、二等一キロ三錢、三等一キロ一錢五厘（奉山、打通、河北、錦承、北票各線に適用）
一、ロ號 一等一粁五錢、二等三錢、三等二錢（瀋海、訥河、圖佳、齊北、西安、平齊、鄭通、白倫、奉吉線の一部、奉天朝陽鎭間に適用）
一、ハ號 一等一粁四錢八厘、二等三錢一厘、三等二錢一厘（奉吉線の一部、吉林朝陽鎭間に適用）
一、ニ號 一等一粁四錢六厘、二等三錢二厘、三等一錢八厘（京圖、朝開各線、拉法新站間に適用）
となつて居り今回の改正は基準を國線中最低率となつてゐる奉山線（イ號）に置くと共に滿鐵社線賃率を參考にし經營、採算上合理的なる新運賃を制定する方針で新賃率は距離比例制により一等一粁四錢五厘、二等三錢、三等一錢七厘乃至八厘となる模樣で滿鐵社線の一等四錢四厘、二等二錢八厘、三等一錢五厘五毛に接近したるものとなり、奉山線級一部線を除く外全般的に三等一粁當り一厘乃至五厘の大幅値下げを見ると同時に從來の不統制極まる國鐵線各線旅客運賃は茲に改正せられ旅客利便の增進は勿論滿洲交通上一時代を劃するものとして期待されてゐる

張國務總理
岩佐中將別宴

張國務總理は今回憲兵司令官に榮轉した岩佐中將を送るため來る廿八日午後六時半よりヤマトホテルに招待して盛大な送別宴を催すはず

清水顧問官
きのふ內地へ

滿洲國皇帝陛下に日本帝國憲法を御進講の榮を賜つた樞密顧問官法學博士淸水澄氏は二十六日午後二時發あじあで早大總長田中穗積博士と同車、丁實業部大臣、長岡總務廳長その他政府要人の盛大な見送をうけ內地へ歸還した

關東局監理部長
田中信良氏に
きのふ任命發令さる

【東京國通】田中信良氏の關東局監理部長任命は二十五日の閣議で正式決定、二十六日左の如く發令された
正四位勳三等 田中信良
任關東局監理部長 敍高等官一等
關東局監理部長 田中信良
命南滿洲鐵道株式會社監理官

康德三年度の標準豫算總額
一億七千五百萬圓

康德三年度標準豫算額は經常費一億三千二百十萬九千三百九十八圓、臨時費四千二百八十二萬四千百二圓、合計一億七千四百九十三萬三千五百圓で內譯は左の如くであるが、本年度殆ど削減された新規要求の反動と土木費の激增とで明年度豫算の各部の要求はこれが標準豫算の約三倍に達するものとみられてゐるので本月末各部よりの提出一段落と共に、主計處では十月匆々査定に入る筈である（單位圓）

部	金額
帝室費	二・〇〇〇・〇〇〇
總務廳	六六・一三一・六〇六
民政部	三六・八一三・四五〇
外交部	一・三九九・〇四九
軍政部	六〇・五〇七・七〇一
財政部	三・七七[illegible]・二二九
實業部	四・二四七・六〇三
交通部	二・五九九・三〇八
法部	九・二[illegible]・五二四
文教部	五・一八八・八二三
蒙政部	二・二三五・七四〇

大村副總裁
けふ赴任

滿鐵副總裁に就任した大村卓一氏は廿七日あじあで大連へ赴任する

平島協和會次長
昨夕着任す

滿洲國協和會中央事務局次長平島敏夫氏は二十六日午後五時三十分着あじあで家族同伴正式着任した

人事往來

▲于芷山氏（軍政部大臣）二十六日午後歸京
▲河本大作氏（滿鐵理事）同
▲入江理氏（前新京醫院庶務長）同ハルビンへ
▲淸水澄氏（樞密顧問官）二十六日午後發內地へ
▲田中穗積氏（早大總長）同

航空
▲杉山雅實氏（新京請負業）廿六日ハルビンへ
▲片山光次氏（新京會社員）同
▲木下莊氏（新京會社員）同
▲木村固治氏（ハルビン淸水組）同ハルビンから
▲又木周夫氏（會社員）同チ、ハルから
▲熊平源藏氏（廣島）[illegible]門へ
▲則生雄吉氏（新京）吉林
▲柴田武治氏（東京商人）ハルビンへ
▲首藤角馬氏（民政部警務司）大黑河へ
▲香西角三郎氏（ハルビン鐵路局）ハルビンへ
▲小林雅一氏（東京）ハルビンから
▲村田義次氏（交通部）同
▲福原龜雄氏（大同電氣商會）大連から

國勢調査下準備たる全滿統計科長會議は昨日國務院會議室に於て開かれた

自分が若し當選したら（五）
戰線に起つ人々
……地委候補を訪ねて……

今もなほ固辭
推薦者を手古摺らす變り種
◇……稻川利一氏（新）

少年車掌から事務車掌へ、事務から事務員、事務員から驛長、驛長にして參事へと飛び今日國都の大玄關の主人公の榮をかち得た氏は既に前鐵道マンとして內地で就職して以來三十數年、つねに……一歩先に……をモットーに刻苦勉勵コツコツとやつて來た人、今回の地委改選で部下驛員の絕對支持をうけて推薦されたが「器に非ず」の一點張りで固辭して未だにウンといはずに有權者を手古摺らしてゐる

私は決して出る氣は更にありません、從つて抱負とか希望などありません、忙しくて地方委員など出る暇もありません、投票する人は投票するだらうし、したくない者はしないだらう、勝手にこれッと思ふ人に投票してもらひます、結局二日の選擧當日、開票の結果でないと私もはつきりしませんが、當選すれば勿論自分に投票して下さつた有權者各位のご期待に添ふやう是と信ずる方向にその都度々々善處いたしたい

これが稻川氏現在の心境である、なほ最後まで固辭してゐる立候補者中の變り種である

略歷 岐阜縣大垣市出身、明治四十二年滿鐵入社と同時に大連驛車掌勤務、大正元年專務車掌撫順驛助役、同九年奉天列車區長、同十五年鷄冠山、大石橋各驛長 昭和四年長春列車區長、同六年大連驛長、同九年參事昇進、同十一月新京驛長本年四月に二十五年勤務で表彰、今日に及ぶ

驛長と共同戰線で
善處する積り
◇……大石義三郎氏（新）

氏は東京市赤坂區生れ、本年とつて三十一、明治四十三年鐵道教習所運輸課卒業と同時に滿鐵入社、鐵嶺驛電信方を振り出しに劉家河、鳳凰城、本溪湖、海城各驛長を務め、昭和八年十一月新京列車區長に就任以來、殊に乘務員の教育、列車給仕の旅客サービス法を研究實施して來た、稀にみる溫厚な鐵道マンとして部下の信望厚く今回の改選にも本人が知らぬ間に候補者に推薦されてゐたくらゐである

何しろ御覽の通りな多忙でとても地方委員會などに出席する機會が少いから却つて市民並に社員諸君に迷惑するので固く辭退したのです、驛長も推されてゐるやうだが若し驛長とゝもに出ることになれば共同戰線を張つて事每に善處したいと思つてゐる

方針も抱負もなく
其場に際して
◇……大石榮氏（新）

同氏も洩れなく鐵道部から推薦された新顏の一人、氏も風變りといへば變り者、祖父の代から續いて三代鄉里福岡縣三瀦郡の出身小學校で十七年間教鞭をとつてゐるが志すところあつて大正八年渡滿、鐵道人の生活に入つて今日に至る不言實行の人である

方針も抱負もないよ、いきなり當りばつたり滿鐵の諮問をうけて始めて方針が決るものだ、保線區などは特に線路の監視、保存の任にあるので他方側とも直接關係がある、例へば寬城子の踏切地下道問題、迂廻線の新設等の如きものがある一市民、市民の代表として諮問された問題については充分研究して善處したい、たゞ市町村會議員と變つて決議權がないので早くいへば滿鐵の參考にされるだけだからなー

略歷 福岡縣三瀦郡の人、明治十七年生れの今年五十二才、同三十六年福岡師範速成科卒業と同時に出身小學校に奉職引續き十七ケ年後志を立て大正八年五月渡滿し瓦房店保線係を振出しに大連工務事務所、大連鐵道事務所を經て昭和四年鐵道部經理課に轉じ昭和六年[illegible]月滿洲事變直前新京保線區庶務助役として着任今日に及び滿鐵には入つてこゝに十七ケ年

信語

現地方委員で再び立候補のはずだつた辯護士沼田勇氏は志半ばにして僅か數日間の病で急逝したのは誠に惜しい▼前回の地方委員選擧では來滿後僅かな日子で世間でも大して知られてゐなかつたが、地委難に打つて出る頃から漸く氏の非凡な才能が一般の認めるところとなり、公人としても將來多大の期待がかけられてゐたものである▼なほ春秋に富む故人に對し各方面は心から哀悼をさゝげその長逝を惜しまるゝ、また以て故ありといふべきであらう▼地方委員選擧もあと僅かに五日間を殘すのみとなつた各立候補者の運動もますます眞劍化されてゆくのは選擧ファンに取つてはこの上ない喜びだが▼一般市[illegible]の選擧に對する興味は立候補[illegible]の數が少い關係もあらうが、一向に氣乘りうすのやうに見受けるのはどうした事か

社說

對支基礎觀の確立へ
多田司令官の發表と其內容

わが支那駐屯軍司令官多田少將が去る二十四日、天津に於いて發表した文書並びに談話は、日本のもつべき對支基礎觀念を確然と宣明するとともに、支那の現狀に對して峻嚴なる批判を與へ、併せて北支駐屯軍今後の對策を暗示したものとして最も注目に値ひするものであつた。由來、長い歷史の交渉を持つ支那に對して、わが國に幾多の支那通が輩出したのは自明であるが彼等が抱いた支那觀、そしてそれから生れた對支政策の悉くが當を得たものであり得なかつたことは、近時の事態の進行のうちに容易に讀み取らるゝところである。それにしても、わが日本大衆の對支理解の程度が一般的に言ふて甚しく低級であることを否めないのはまたこの上なき遺憾事であつた。いま、多田司令官によつて宣明されたものは、第一にわが大衆に對して偉大な敎訓であることをわれらは强調せねばならぬのを思ふ。筆者は電報による要點を知つたのみで同文書の全文を未だ讀んでゐないが、その敎訓の顯著なものは今引き出すことが出來る。たとへば、搾取主義を排せよといひ、獨立を尊重し民族の面目を保たしめよといひ、人的關係にとらはるゝべからずといひ、新舊軍閥及びその他の搾取者を消滅せしめよといひ、誤れる優越感を棄てよといへる、一項として忽視すべからざる現時の重要態度を要請したものに外ならぬ。われらは、われらの日常生活に於いてこれらの項目が常に誤またず實行されてゐるか否かを反省せねばならぬ。それなくして何の支那理解ぞ何の對支政策ぞと言ひたい。次に、支那の現狀に對する理解の點についても、同文書はわが國の資本家、外交官、右翼並びに對して儼然たる批判の鐵槌を加へてゐるものであることを注意せよ。「日本人の抱く狹義な對支觀念殊に支那併呑支那侵略の如きは時代錯誤も甚し」と明確に同文書は述べてゐる。今日、なほその如き時代錯誤より派生した連中か大陸に蠢動しつゝある事實を知るが故にわれらはそれを言ふのだ。不當なる搾取の排擊は、まさに現時の資本家的イデオロギーの造り直しを要求するものである。更に國民黨並びに蔣介石氏一派に對する批判と、北支の現實に對する宣言とは、近く北支に生れ出づべき新しき共存の天地への導きの糸たるものである。思ふに、北支に於ける今後の創造についてわれらがいかに協働すべきかについては更に一層の研究と討議とを要するであらう。それはまさにわれら大衆は立ち上つて北支の民衆と相共に白日の下に公然と論議すべき正義の道でなければならぬ。

國民黨が再び
華北地盤獲得を策す
王廉省が專員に

【錦州國通】曩に日本側の嚴重なる抗議により表面華北よりその影を沒したかに見えた國民黨勢力は最近に至り再び黨勢の擴張、黨務の統制を企てつゝあり、これが中心人物としては前天津黨部主任王廉省が專員となり三名の協助員を動員して黨化工作に當らしめる外、各地の新聞記者と密接な提携の下に各種情報の蒐集に努めてゐるが彼等の今後の動向は各方面より多大の關心を以て觀られてゐる

支那側の態度
煮え切らず
日支關係の打開見込薄

【東京國通】南京政府は廬山會議の結果依然親日方針を繼續するものと傳へられ駐日大使蔣作賓氏の

歸任 は可成りの期待を以て迎へられてゐたが蔣作賓大使は去る二日廣田外相を訪問して一應の意見を交換したのみでその後何等日支關係の打開に關し積極的熱意を示さず然かも又廬山會議に於て決定された所謂親日政策なるものも

一、滿洲國承認問題は南京政府の命取りであるため今日之に觸れてもらひたくないこと

一、日支親善は支那の面目を損ぜぬやう日支平等の立場に於て行はれるべきで支那に平等待遇を與へるために日本は治外法權、河川航行權撤廢を考慮されたいこと

一、日支間の交渉は外交官を通じて行はれるべきこと

等南京政府本位の要求を前提とする糊塗策にすぎぬことが南京政府要人の言動によつて暴露されその一方では頻りに暗々裡に英國と借款工作を進める等南京政府の親日態度は依然として一向信用をおけぬものなので外務當局では頗る不滿を感じてゐる、尙外務當局では具體的工作による日支提携に就ては日滿支三國關係の調整をはかる以外には日支關係を打解し東亞全局の平和を確保する道なきことを確信して支那の自發的覺醒を待望して來たが支那がこの上その日暮しの對日政策を續けるに於ては我が國より日支兩國自身のため積極的に支那に對し働きかける外なしとの結論に達しつゝあり廣田外相は近くその

意圖 を以て支那に對して積極的措置に出づべき機會を求めつゝありと見られ遠からず日支關係の局面展開が期待されてゐる

石油業委員會
廿五日開催
貯油義務に關し商相決意表明

【東京國通】石油業委員會は廿五日午後商工省に於て開催されたが、席上內地當業者側より貯油義務延期に對し不滿を發表した、之に對し町田商相は

外國會社が六月末迄に貯油義務を履行することを前提に對策が樹てられてをり若し外油側が之を實行せざる場合には適切な方法を講ずる方針である

と固き決意を表明し更に商相はガソリン二錢五厘値上げの主張に對し

飽迄貯油義務に關聯する値上げは之をなさざるも經濟的理由による値上げの止むなきを認める

旨言明する處あつた、從つて商工省當局では其時期については貯油義務に對する國家補償豫算案の大藏省査定を待つか又はその以前に實行すべきかについて考慮中であつたが事務當局も斷行論をとり又町田商相の所謂經濟的理由による値上げ容認の言明から見ても近日中に値上げの態度を明かにするものとみられてゐる

五・一五事件
民間被告
けふ判決言渡し

【東京國通】五・一五事件民間側被告たる元神武會長法學博士大川周明、天行會長頭山秀三、紫山塾頭本間憲一郎の諸氏に係る上告審は大審院に於て去る五月二十三日から七月一日にかけ十一回にわたり審議されてゐたが愈々廿六日判決を言渡されることとなつた、各被告は神兵隊事件同樣內亂罪を以て處斷すべきものとして上告されたものだけに大審院が如何なる裁斷を下すか頗る注目されてゐる

富士紡、相模紡
十二月合併
資本金五千萬圓の
第三位の大紡績會社出現

【東京國通】富士紡績會社は十二月廿一日を期して相模紡績會社と合併することとなつたが、右の結果同社の資本金並に生産設備は東洋紡、鐘紡に次ぐ大紡績會社になる、即ち富士瓦斯紡績の現在資本金は四千五百五十萬圓(內拂込金三千四百萬圓)であるから相模紡を(資本金六百萬圓拂込三百七十五萬圓)四對三比率に於て合併の曉は資本金五千萬圓(拂込三千七百三十七萬五十圓)となる筈である、尙生産設備は富士紡の現在設備に青島工場の分を合算して製紡機は六十三萬三百二十錘であるから之に相模紡の現在設備十三萬五千三百一錘を加へ合計七十六萬五千六百二十一錘を有することゝなる

國際船主會議
第二豫備會商
開催絕望視さる

【東京國通】世界海運合理化を目標とした國際船主會議第二豫備會議は來る十月下旬ロンドンに開催の豫定であつたが、廿五日日本船主協會入電によれば北米合衆國の不參加が明瞭となつたこと、最近の歐洲海運界の活況なること、會議招集國たるイギリス內部に意見の對立を生ずるに至つたこと等を原因として豫定された同會議の開催は絕望視さるるに至つた

丁杏廬漫筆 (七)
・・・・附屬地の重要性

過去三十年間邦人のパイオニアが血のにじみ出るやうな惡戰苦鬪の結果築き上げたる我等の附屬地である、そう簡單に片附けられては堪まらぬといふ歷史的存在に對する愛着心以外一方には事變以來內地同胞の血税より成る數億乃至十數億の國幣と萬を以て算する皇軍の犧牲とが滿洲國に捧げられたる結果共同國防の重大使命は別として匪賊掃蕩、鐵道開通、國道建設等等に依りて先づ直接其の恩惠に浴するものは少數の在滿邦人でなくて大多數の滿洲國地方人民である、かるが故に代償的に治外法權を延長し附屬地の特權を維持すべきであるとする感情的衡量が附屬地擁護論の核心的イデオロギーを形成し居るは無論當然至極の事である。

◇

然し審かに再檢討を行ふならば、以上のもの以外に更らに重大なる意義が有つて其間に存するのである。

◇

(一)商工移民の策源地、此れ迄滿鐵沿線の附屬地なるものは日本の對滿政策上商工業的(或は文化的)進出の根據地であり牙城であつたのであるが今後は此をこのまゝ擴大强化すべきである、其には矢張り在來の特權維持が必要條件である、税金が廉く安全であればこそ內外資本家が安心して此處に投資し工場を建てて商業を營むといふことになるのであるが、若し以上の信賴が多少でも動搖させらるゝ場合にはさなきだに出足の澁つてる日本資本家などは益々對滿投資を手控ゆるといふ結果になりはせぬか附屬地の繁榮が次第に衰え事業が興らず投資が止むといふことになれば滿洲國財政部邊で皮算用的に當込んで居る所の附屬地課税權移讓に依りて生ずべき筈の增收は却て減收を來たし鵝鳥の首を絞めて黃金の卵を失ふの愚策に終らう。

◇

上海が好いお手本である、支那の國權論者の叫ぶが如く上海租界を完全に回收し、所謂る外人の特權が消滅したとするならば一体如何なる現象が出來すると思ふ、無論輕薄な支那の青年學生は一時有頂點に喜ぶであらうが一方外商は支那官憲の治下などで甘くやれる筈がないから家財を引纏めて大半は歸國するであらう勿論投資などするものはあるまい。其結果今日の上海の繁榮は衰微し海關の收入は激減し支那は豫期に反して財政的經濟的に一大破局に直面するであらう。支那が今日經濟的に瀕死の狀態に在りながら兎も角生存して居るといふのは長江といふ大動脈の咽喉の後を上海が引受けて活潑に呼吸して居るからの事である、で上海の此の呼吸が止まつたが最後少くとも支那の假死狀態は免れまい。特權廢止後の滿鐵附屬地も大方同一經路を辿るべく在滿邦人の商工業者が一大打擊を蒙るばかりでなく滿洲國側自身も之が爲めに損こそすれ得するやうなことは萬々無からう。尤も滿洲國側では支那と滿洲國とでは全然異ふ、此ちらでは日系官吏が其局に當るのであるから餘計な心配は無用であると果して然らば甚だ結構であるが我々の目では日滿合流して併合狀態に置かれるか不可分關係の極端化が實現するまで少くとも此の五年や十年では先づ覺束無いと見て居る。

◇

其れに日本が農業移民に依りて滿洲國內に發展するといふことは尤も望ましい事であり又成功の可能性が絕對に無いでもない今後十年や十五年ではテンで物になるまい。さすれば商工業に伸びる即ち商工移民(?)以外に他に道が無いこれこそ生命線中の生命線であるから培養助長に務めこそすれ阻害の惧れあるものは細心の注意を拂つて此を築くべきである。

世界論調
フランスとの協同
ステファン・グワイン

アビシニア問題―といふよりむしろイタリーのアビシニアに對する關係の問題は今やヨーロッパで最重要なものとなつてゐる、特に大英帝國に取つてそうである、英國の根本的な意圖は戰爭防止であると考へていゝ、そしてその第一の手段はフランスとの協同を保持することである、危險にさらされてゐる地域に關與してゐるのは英佛の二國であるそして兩國とも根本的には相通ずる政策を持つてゐる、それに一層重要なことは彼らが彼らのみが危險を防止する手段を有してゐることである、兩國とも問題發生の時より伊エ兩國より良い結果に導かせるために助力出來る、アビシニアが得るのは保護の繼續であらうし、それは武力によらねばなるまい、だがアフリカで獨立してゐる小國にとつてこれは小さな收穫ではない今日、新しい見解がひろまつたため、ヨーロッパ諸國はイタリーが他のヨーロッパの國と結ぶことを否定しようとしてゐる、人は既往の、諸國がアフリカに對してなした政策の經驗を反省すべきである、解決の方向は英、佛が幾分の犧牲を拂つてアフリカの再分割をなす道にあるであらう、ローマでエデン氏の語つた所では實際にこの方法が取られようとしてゐるやうである、フランスが獨占的に設けた鐵道にイタリーを割込ませ、英領內にはアビシニアに鐵道をつなぐ港を作るといふのであるこれは佛伊が不滿であらうし誰が鐵道を作るかの問題も難しい、だが大事なのは枝葉な問題を枝葉な問題として片付けることである部分的な言ひ草、部分的な利益を考慮せねばならぬとしたら問題は解決するのに仲々困難である(「フオトナイトリイ」八月號所載―S・Y抄譯)

商況欄 (九月廿六日後場)

金銀市況

●上海標金　前引 八九四、七〇　後寄 八九四、九〇　步 ―

●大連金鈔票　寄付 一三五、一〇　引 一三三、五〇　高 一三五、一〇　安 一三三、四五　出來高 二〇九

▲九月二十八日限／十月十三日限　寄付 一三四、七〇／一三三、七〇　步 四、五〇／四、七五　[illegible]

●大連鈔票銀大洋　現物 一三三、三〇／一三三、五〇　引 一三四、七〇／一三四、七五　高 一三三、三〇／一三三、三〇　安 一三三、三〇／一三三、三〇　出來高 一〇三／二〇九

●奉天國幣對金票　現物 二三六、九〇／二四〇、〇〇　▲九月廿八日限 現物 一〇〇、〇〇／一〇〇、〇〇　寄付 出來不申　引 ―　高 ―　安 ―　出來高 ―

爲替相場

▲上海爲替　▲日本向　第一回賣買 一三〇、〇〇／一三〇、五〇　第二回賣買 ―　第三回賣買 ―

▲倫敦向　第一回賣買 一志六片一六分ノ五／一志六片四分ノ一　第二回賣買 ―　第三回賣買 ―

▲紐育向　第一回賣買 三七弗一六分ノ九七／一六分七　第二回賣買 ―　第三回賣買 ―

大連爲替　▲上海向 九六、七〇　九六、七五　九六、八〇　九七、〇〇　▲臺灣向 九七、三五

株式相場

▲大連株式(短期)　寄　五品 一七、四〇　一七、四〇

▲奉天株式(短期)　寄・引　[illegible]

各地市況

●豆新、鈔新、東新、鐘新、滿鐵、二新、日産、滿取新、東新、鐘産、日新、大新、五品、豆甲、電乙、同鐵、滿拓、東距、東會、日興、滿毛、二新、優先　[illegible]

●橫濱生糸　後場引 [illegible]

●大阪期米　當限・先限 [illegible]

●大連麻袋　當限・中限・先限 [illegible]

●哈爾濱大豆　十月限・十一月限・十二月限・出來高 九六車 [illegible]

●同小麥　十月限・十一月限・十二月限・出來高 一〇車 [illegible]

●神戶豆粕　九月限・十月限・十一月限・十二月限・一月限 [illegible]

新京取引所市況 (九月二十六日後場)

先物 大豆 九月・十月・十一月・十二月・一月 [illegible]　高粱 九月・十月・十一月・十二月・一月 [illegible]

二十八日限 鈔票對金票　十三日限 [illegible]

二十八日限 國幣對鈔票　十三日限 [illegible]

手形交換 (二十六日)　金票 二三枚　鈔票 三枚　國幣 四三枚 [illegible]

接收後の露外商 閉店數百余軒
新開店は僅かに十一

【ハルビン發】北鐵接收景氣から當市露外商筋は一時三百萬圓近くの購買インフレの波に惠まれ一時活況を呈したが、その後ソ聯人の歸國完了とともに購買力は急退し、現在では各露人商店の一日賣行きは接收前の四割以下に低下するの慘狀を呈しており、これら露外商の今後の動向は各方面注目の焦點と化してゐるが、某機關による確實なる調査によれば接收以來今日までの約六ケ月間における倒產もしくは整理によつて閉店した當市露外商數はこれを業種別にみれば次表のごとくである

業種別	軒數
洋服雜貨商	一四
藥種商	一四
化粧品雜貨商	一一
自動車代理商	九
電器具商	九
金物商	八
書籍商	七
皮革工場	六
樂器商	六
食料酒商	五
機械器具商	五
印刷工場	四
石油商	四
建築請負商	四
腸詰工場	三
ウオツカ工場	二
旅行具商	二
精油工場	一
運送店	一
製菓工場	一
羽毛加工工場	一
計	一一七

すなはち閉店總數は百十七軒の多數にのぼり、閉店資本金額は精確なる數字不明なるも某機關の推定によれば總額三百五十萬圓を突破すること確實であり、如何に北鐵接收が當市露外商に甚大なる打擊を與へたかを如實に反映してゐる、しかして目下整理中のものにも中央大街のベント商會(既成洋服店)を初めとして約三十軒を越えており現在の情勢よりみて年內の總閉店數は百五十軒、資本金額五百萬圓を突破するものと豫想されてゐる、しかして四月以降現在までの露外商店新開店數は僅かに十一軒で資本金額二十五萬圓內外とみられてゐる

大豆續落
安値は九十錢 先安氣配濃厚

【ハルビン發】開戰氣構への急迫による鈔票高から一時狂騰時代を再現した當市大豆相場は、屢報のごとくその後伊太利軟化による鈔票暴落から脆くも反落時代に轉入したが休日明けの二十五日は更に弱氣材料強まつたため人氣一段と軟化し安値は遂に九十錢丁度と低落九十錢の關門割れ近きを豫想せしむるに至つた、すなはち前場は鈔票が更に二圓方下押して安値百三十四圓八十五錢と低落したる上に、歐洲低調と、南滿が一日四十車內外の新豆出廻りをし初めたる惡材料を控へて大連弱氣を移して市も更に二錢方續落に安値は先限九三錢、當限九〇錢丁度と下押したが、その後は橫濱生糸八百四十七圓とはねて近年での最高記錄を示したのにつれて豆粕が再反騰じたのと、大連が鈔票反騰にも關らずシツカリしたのを移して二錢方引き返し後場安値は先限十五錢、當限九二錢と持ち直したが底意は依然ジリ安で九十錢破れ不可避とみられるにいたつた

北滿
第一線に應はしい 國防靑年團生る
＝護國の大義を實踐躬行＝

【ハイラル國通】去る十八日の滿洲事變記念日をトして企てられた當地靑年團の擴大強化協議會は議論百出して遂に纏らず設立委員を選定して更に二十日午後七時居留民會事務所に於て設立委員會を開催新貝居留民會長、西民會理事福士評議員その他合計十三名の設立委員出席協議に入り勝頭團名を「大日本海拉爾國防靑年團」と稱する事を可決し團則として第一章總則より目的、組織、役員、會議、會計罰則、雜則に至る、八章三十箇條に亘る廣汎なる團則を作成して團長として脇坂實業公司專務を推し副團長、總務委員長以下警備、修養、體育、監査の各正副委員長を詮衡內定して愈々來る廿九日午後一時日本小學校に於て日本軍、滿洲國官廳其他在海有力者後援の下に發會式を盛大に擧行する事となつた因に國防靑年團組織の目的は德を修め、業を勵むと共に擧國皆兵の精神に基き國防の第一線にある日本靑年とし護國の大義を實踐躬行せんが爲平素は人格の向上、心身の鍛鍊國防思想の涵養に努め皇軍將兵に對して後援の誠を盡し、傷病兵士を慰問せんとするものである

邦人課税問題
座談會開催 けふ總領事館で

【ハルビン發】治外法權の撤廢にともなふ在滿邦人に對する滿洲國の課税問題は屢報のごとく何分にも改正關税營業税率その他よりみて課税權委讓後の邦人負擔額が現行負擔額に對比して著しく過當なるため各地において邦人論議の焦點となり、奉天においては商工會議所並びに工業會が中心となり早くも反對運動の火の手が擧げられ各地邦人もまたこれに合流せんとする勢を示しており、當市においても商工會議所を主體として各方面に反對の氣勢擡頭してゐるか、何分にも從來右に聯關して傳へられてゐる諸報導は確實性少くために

(一)滿洲國の邦人課税の實施時期如何？(一般には明年一月と傳へらる)

(二)邦人課税率を滿人課税率と同等に取扱ふ否や(一般には邦人課税率は滿人のそれより低減すると傳へらる)

(三)邦人課税率を滿人課税率より低減すること確實とするもその限度如何(一般には滿人課税率より四割減と傳へらる)

(四)課税にともなふ強制權の實施を如何にするや(確傳なし)

等々の重要諸點については今なほ殆んど眞相不明なるため抽象的には對策意見の立てやうもない實情にあるに鑑み、當市商工會議所並びに居留民會では共同主催をもつて二十七日午後三時より總領事官邸において此の問題を中心に民會評議員一八名、會議所議員三十名計四十八名を招致して滿洲國當局者の出席を求めて實情の說明を求むると同時にこれに對する當市在留邦人の各種意見の開陳並びに交換を行ひ、その結果に基いて商工會議所において當市在留邦人としての具體的意見書を作製することに決定したが、問題が問題だけにその成行きは各方面より極めて重視されてゐる

哈市商工祭
盛大に擧行さる

【ハルビン支局發】哈爾賓新聞社主催第二回商工祭は二十四日市公園廣場に於て擧行された、此の日碧空高く北滿の天地淸澄國際都市哈爾濱の商工祭を祝福するかの樣である一同市公園に集合、閻省長、施市長、手木民會長、加藤商工會議所會頭其の他日滿各要人の祝詞があり神酒披露の後ビールの滿を引いて更に爆竹の合圖と共に樂隊つ奏する勇ましい瀏喨たる響に送られ優勝旗を捧ぐる先驅車に續き今日を晴れぞと思ひ〳〵の珍趣向を凝らした各商店の假裝トラツク隊が蜒々と長蛇の列を作つて公園前を出發キタイスカヤ街を拔出で途中靈滿人は驚異の眼を見張り新市街に出で哈爾濱神社に參拜中食を取りそれより傳家甸に出で市中を巡行した

此の日航空會社の飛行機は爆音勇ましく低空飛行を行ひ宣傳ビラ十萬枚を全市にバラ撒き地上部隊も相呼應して彌が上にも商工祭氣分を引立せ熱狂と歡喜のクライマツクスに達し通行止のお祭騷ぎの賑はいで勢狂裡に五時卅分モストワヤ街に於て散會した、尙此の日活動寫眞班は式典より行進の模樣審査祝賀宴まで細大洩らさず撮影後日各活動常設館で上映することゝなつた

松花江鵜飼
毎日公開

【吉林○○】當地觀光協會の松花江鵜飼は今まで毎週土曜、日曜、水曜に定期的に行つて旅行客の人氣を集めて居たが今回一般市民並に旅客の要望を容れて連日公開する事に改めたが、最近下流の某處に絶好の漁場を發見し七、八寸から一尺二寸にも及ぶ大物までが捕獲されるごとになつてゐる、因みに觀光協會は今度市政籌備處社會科內に移されて積極的に其使命に邁進することになつた

吉林の
赤痢猖獗

【吉林支局發】當地在留邦人間に於ける傳染病の流行は八月中には稍其勢を弛めたかの感があつたが、九月に入りては又もや猖獗の狀を呈し月初以來數名の赤痢患者を出した上に二十三日には又腸チフス赤痢各一名の新患者が現はれて市民に脅威を與へてゐる

東滿
人道橋問題等に關し 要路へ陳情運動
圖們內地人民會起つ

【圖們國通】今般內地人民會では圖們市の現下の急務たる豆滿江人道橋問題、各主要都市への國道網問題、市街道路改修問題等に就き鮮民會及商務會と合同、夫々關係要路に陳情書を提出することゝなり第一の豆滿江人道橋問題に對しては滿洲國交通部大臣へ、第二の國道網問題は國道局長へ第三の市街道路改修に關しては吉林鐵路局に提出の筈であるが、尙は人道橋問題は朝鮮側の各機關各團體と連絡を保ち朝鮮總督、總監、內務局長、咸北知事、土木課長宛火急の要事として熱誠な請願をなすべく南陽各機關とも打合中せである

中川原氏送別會

【吉林支局發】當地總領事館の中川原書記生は今回の異動により龍井村總領事館に轉勤することゝなり、其後任を命ぜられたる佐藤書記生が廿三日午後一時十四分に鄭家屯より着任したが近く赴任すべき中川原氏の爲めの送別會が廿四日夜名古屋グリルにて開催された

圖們の保甲 連座組織
近く改正斷行

【圖們國通】圖們に於ける保甲連座法は從來、圖們の外に郊外の大部落たる東京洞、灰幕洞をも包括して一保を組織して居るが、圖們自體の發達に伴ひ、此のままでは區域大に過ぎ治安工作上に遺憾ありとし近く圖們、東京洞、灰幕洞の三つを引き離して夫々一保を置いて組織の强化をはかる模樣で、來る十月一日の日本國勢調査に順應して在住朝鮮同胞の實數調査を嚴密に施行するとの議もあり、傍々、此の保甲連座組織の改正は近く實施されるものと觀測され一方日滿官憲の聯合になる特別檢擧班等の活躍と相俟ち、圖們地方の治安工作に貢獻を爲すものと喜ばれて居る

無線通信資格 檢定試驗

【大連國通】關東局遞信局では來る十月二十一日より十一月五日まで無線通信資格檢定試驗を行ふこととなつた、右は從來遞信本省內に於てのみ施行され在滿技術所有者に對し多大の不便を感ぜしめてゐたものであるが今回遞信局規則による資格檢定試驗を設けたもので右試驗に合格したものは內地遞信省より資格を享受したものと同樣の資格を得られる譯である

大石橋の德望家 二宮翁の胸像寄附

【大石橋國通】大石橋の德望家高田仁三郎氏は有名な二宮尊德翁崇拜家であるが今回私財六百圓を投じて同翁の胸像を製作し去る十七日の八十周忌に際し之を當地小學校へ寄附し日滿官民並に學校生徒諸列裡に除幕式を行つた

日滿電話 使用數激增

【大連支社發】昨年八月開始された日滿電話は、其の後日に日に利用價値を高めつゝあり、日滿通話の約半數を示す大連中央電話局に於ては平均約一日五十通話時と云ふ數字を示し豫期以上の好成績を擧げ來つたが伊、エ兩國の戰雲漸く急なるものある今日、所謂戰爭景氣に起因する株價の變動、市場の動亂よりの影響を受けて去る九月十八日は從來の記錄をはるかに突破する一日九十五通話時と云ふレコードを示すに致つた、一通話時を三分として約五時間、之れに加ふるは呼出時間等を加算する時は、優に六時間以上の日滿電話を使用した事になり、日滿間に於ける經濟的方面の動向が如何に緊密なる連繫のもとにおかれてあるかが充分に察知し得られる

安東省明年度 要求豫算
四百六十余萬圓

【安東國通】康德三年度安東省要求豫算は總額四百六十三萬四千圓に上つてゐるがその內譯主要項目左の如し

所管	部	金額
△民政部所管	經常部	一、五七三、〇〇〇圓
	臨時部	[illegible]三三、〇〇〇圓
△文教部所管	經常部	[illegible]〇七、〇〇〇圓
	臨時部	四〇、〇〇〇圓
△實業部所管	經常部	[illegible]九、〇〇〇圓
	臨時部	一三三、〇〇〇圓

興安北省 交通の槪貌(上)
燥原と斷崖峽谷の連續 錯雜の地縫ふ未開交通

興安北分省は北滿產業開發の大動脈濱洲線を底邊に南北に折半され、廣漠實に十五萬平方キロに及んで居るが、その北半は行政上アルグン左右兩旗及陳巴爾虎旗の管轄に屬し、北滿有數の農耕適地たる三河地方並に豐富なる鑛產資源を抱擁する奇乾地方を含み、將來滿洲產業上の重要地方であると共に邊遠乍らアルグン河によつて直接蘇露ザバイカル州と境を接するため、一度交通網の開發完成せんか貿易並に國防上より見て開け行く西部滿洲の玄關口として押しもおされぬ重要地たる明日が約束づけられてゐるこの意味から從來未開地として世人の注目外に葬られて來た當地方交通の槪貌を一瞥して見よう

陸路

この地方に於る主なる道路は何れもハイラルを起點に北に伸びてゐるが、主なるものは次の樣である

イ、ハイラルから烏龍套海を經てアルグン河中流吉拉林に至る

ロ、ハイラルから土庫力、蘇沁を經て(イ)の道路と合して吉拉林に至る

前記の各道路はハイラルに發し頭站に於て左右に岐れ幾多の河川を越へて何れも略々同一な道路狀態を以て緩やかな傾斜をなして波の如く起伏する大興安嶺の背斜面を錯雜な地形を縫ひつゝ一は烏龍套海を經て七まで直行し、他は上庫力ドラガチエンカ、蘇沁の線を貫いて七 に至り相合して河岸に沿ふて吉拉林に到達してゐる

道路は槪して馬車を通ずるに支障なくハイラル河には今年春竣工した堅固を誇るコンクリート橋が架せられ、又根河には馬車二三臺を積載し得る大形渡船がある(渡船料一人十錢 馬車廿錢)

その他幾多の諸川は何れも水深一米に及ばず馬車によつて容易に渡渉し得る而し乍ら之等の河川は雨季に際しては屢々增水を見、之がため街道の往來は四五日乃至一週間位阻止される事がある、此の道路に沿ふて要所には滿洲人の旅宿があり何れも數十名の宿泊に便しい曠野の旅にも些かの支障はない、旅人の食事等もとより牛馬車のため乾草の準備等もあり宿泊料は平均卅錢程度である

ハ、滿洲里＝烏龍套海間濕地地帶であつて雨季に於る交通は困難である

ニ、吉拉林から古那を經て奇乾に至る＝吉拉林、古那間は頗る良好な馬車道があるが古那から奇乾に至る山道は斷崖、密林、峽谷が交互連續し馬背か徒歩に依るの外なく、馬背に依る場合も通常荷物の携行を許されず只一、二食分の食料の携行が最大限度である

ホ、三河各部落間の道路＝槪ね良好で馬車道は縱橫に通じ交通利便である

主要部落間の馬車所要日數

四季を通じて當地方の交通は專ら馬車に依るが主要部落間の所要日數は次の如くである

區間	日數
海拉爾＝烏龍套海	三、四日
海拉爾＝上庫力	三、四日
上庫力＝吉拉林	五日
吉拉林＝奇乾	六日

(吉拉林＝奇乾間は馬車の通行不能であり、これは乘馬に依る所要日數である)

家庭

赤ん坊に――恐ろしい寝冷えの豫防法

パヂヤマをお奨めします

寝冷えは、ただお腹をこはすだけでなくそれが萬病を呼ぶ因になります

疫痢

など、その好例ですが、また風邪を引いたり、同時に胃腸をこはしたりすると、仲々治りにくいものですから、決して馬鹿にならないのです。下に赤ちゃんが出來ると、夜分などは特に大きな赤ちゃんにまでお母様の手が屆かなくなつて、寝冷えをさせることがあるものですから何よりも寝冷えを防ぐ方法を行つて安心して寝れるやうにすることです。豫防に一番よいのは、赤ちゃんが轉げ出しても、寝冷を起す心配のない、寝衣を着せておくことです。今日でもよく見かけることですが、寝冷えは

お腹

さへ溫かくしておけばよいといふので、お腹に厚い綿入の蒲團を卷いたり、簡單な腹かけをしたりして、然も股の方は丸出しにしておいて少しも差支へないものとしてゐるお母様が多いやうであります、勿論お腹だけは、これで大丈夫ですが、身体の弱い赤ちゃんには、決してこれだけでは充分ではないのです寝冷え知らずは、お腹ばかりでなしに、せめて膝から上だけは、すつかり包めるものでないといけません、つまり足部で冷えた血液がそのまま腹部へ入つて行かないやうに

股を

溫かくしておくことが何より必要です。皆様のお手許にもこの寝冷え知らずは、いろいろ御工夫したものがありませう。何れにしてもからしてお腹ばかりでなしに股の方もそつくりと包めるものならば、どんな形のものでもよろしいわけです。理想的な寝冷え知らずとして、せめて赤ちゃんにだけは、洋風のパジャマをお母様の手でぬつて上ることをいつもお奨めしてゐます、これならば、ズボンと上衣とで、お腹のところが二重にも三重にもなり、別に腹帶をする必要もなく何かにつけて、非常に便利なのです

脚の

さきをひつくるめた袋のやうなズボンをはかせたり、毛布の兩端を蒲團の下に折り込んで、赤ちゃんが轉げ出さぬやうになど苦心なさる方がありますが、これはどちらもとても寝苦しいものですから、却て赤ちゃんのためにはよくないことです

今日の献立

(朝) ▲味噌汁＝蕪と油揚の身にしませう

(晝) ▲鰯の燒魚＝腸はとらずにそのまま黒くなるまで燒きます。燒けましたら大根下ろしと醬油をそへて頂きます

(晩) ▲大根と油揚の煮つけ＝大根は二、三分の厚さに輪切りにし、油揚は大きく四角に切つて、醬油適量に水を入れて煮ます、大根がよく煮えきつたら砂糖を少々入れて、約五分程煮つけます この時の砂糖の量は大匙に二杯ぐらい

ラヂオ

けふの番組

(M・T・C・Y) 新京放送局 廿七日(金曜)

(朝)
六、〇〇 建國體操(滿語)
六、一五 ラヂオ體操(大連)
引續き 入港船の御知らせ
六、三〇 中等滿語講座(大連) 講師 秩父固太郎
七、〇〇 中等日語講座(奉天) 講師 近藤 喜助
七、二〇 天氣豫報(大連)
引續き 朝の音樂(大連)
八、三〇 經濟市況(東京)
九、〇〇 音樂(レコード)
九、二〇 料理獻立
九、四〇 經濟市況(大連)
一〇、〇〇 婦人家庭講座 秋の髮の御手入 赤塚 久子
一〇、二〇 經濟市況(東京)
一〇、五九 時報(東京)
一一、〇一 經濟市況(東京・及大連)
一一、四〇 ニュース(東京・引續き新京)

(晝)
〇、〇一 經濟市況(大連・引續き新京)
〇、二〇 晝の演藝
〇、四〇 建國體操(滿語)
〇、五〇―四、〇〇 野球試合實況(東京) 「豫備日」＝明治神宮外苑野球場より中繼＝
一、〇〇 淸 唱(哈爾濱) 一、打金枝 二、雁門關 唱 李 朗 坡 胡琴 王 懿 先 皷 陳 慶 元
一、二〇 ニュース(滿語)
二、〇〇 經濟市況(大連)
引續き 日用品値段(滿語)
二、二〇 成人講座(奉天) 鐵路總局的附帶事業 奉天鐵路局副局長 趙 心 哲
二、四〇 演藝(レコード)(滿語)
二、五〇 經濟市況(東京)
三、〇〇 ニュース(東京)
三、三〇 經濟市況(大連・引續き新京)
三、五〇 ニュース(鮮語)
四、三〇 ニュース(鮮語)
四、四〇 演藝(鮮語)
五、〇〇 子供の時間(東京) 合唱 美しきわが子やいづこ 早川信編曲 外六曲 伴奏 日の丸管絃樂團 JOAK唱歌隊 伴奏編曲 飯田 貫 指揮 吉原 規
五、二〇 子供の新聞(東京) 關屋 五十二
五、二五 今晩の番組(日滿語)

(夜)
六、〇〇 ニュース(東京)
六、二〇 氣象通報 番組豫告(滿語)
六、二五 政府公報(滿語)
六、三〇 國民の時間 郵政大觀(一) 金 鏡 潔
七、〇〇 長 唄(東京) 吾妻八景
七、二〇 ラヂオドラマ(東京) 秋晴れ 堀江林之助作 「放送文藝懸賞當選作」 築地座 友田恭助 杉村春子 中村伸三
八、〇〇 小 唄(京都) 一、おしどり 二、つかひはなれぬ 三、ぬしさんと 四、いつしかに 五、水の出端 六、ながひ浮世 春日とよ香 春日とよ美代
八、一〇 ラヂヲ小說(東京) 藁人形の婿(二) 澤村田之助
八、三〇 時報・ニュース(東京)
引續き ニュース
八、四五 ニュース・經濟市況 氣象通報・番組豫告(滿語)
九、〇〇 畫劇(哈爾濱) 天堂州 唱 曲 狂 夫 于 佐 臣
一〇、〇〇 北滿の時間 露語(哈爾濱) 李 秀 山 米 維 本 場面 高 貴 亭 外五名

マタ歌ハナラナイヨ
アーン!
ウワッ!
アーン!
バカ! バカ!
© 1926, by King Features Syndicate, Inc.

築地座の「秋晴れ」

放送文藝當選ラヂオ・ドラマ

〔後七・二〇 東京より〕

堀江林之助作

爽やかな秋晴れの緣側で老母が鳴子の番をしながら繕ひ物をしてゐると端書が來る。使ひ屋庄さんが來る。老母はさつき來た端書を庄吉に讀んで貰ふと姉娘の出産の通知で、庄吉相手に子供の幸福を語つたり、果ては針のめどを通して貰つたりする和かさ。入れ違ひにきた商人に、お產の祝物のために柿を賣つてゐる所へ息子が歸つてきて來年入營する留守の母の慰めにラヂオに代へるつもりの柿だつたと怒るが結局賣ることになる、そこへ町に嫁いでゐる妹娘がしよんぼり歸つてきて「もう歸らぬ」といふ。問ひたゞすと別にはつきりした理由はない。たゞ夫が始終或る藝者を「好きだ」といふとの事「云ふだけで遊びに行きはしないが何だか心細い」といふので親子は心配するが、商人が「頼り切つてゐる女だと思ふと一寸からかつてみたいといふ氣持を男は誰でも持つてゐる、それは却つて愛してゐる證據」といふ。胸の解けた娘は泊れといふのを振り切つていそいそと自轉車で歸つて行く……。

經歷と作爲

(作者の言葉) 堀江林之助

福岡縣の產、本年三十二才幼少足を痛めて小學校にも通へず全然獨學であります夙に文學を志してゐて昭和三年「サンデー毎日」に當選したのを機會に上京、慘憺たる無名作家生活を續けてゐます「大衆文藝新人會」の一員です。ラヂオ藝術は多忙なる明日を有するものとして尠からぬ期待と興味をもつてゐます「秋晴れ」は從來の放送作品が多く都會生活をばかり描いてゐるのをさびしく思つて農村に取材し、農村の平和なそれだけに單調な日常生活を出來るだけ寫實的に描かうとしました。平凡な生活の中から純眞で、ほゝ笑ましい人の心を汲み取らうとしてみました。實はラヂオ藝術に對する抱負の具體化をこの際試みたいと思つたのですが、臆病になつて抑制したために、我ながら思はしくない結果でしたので、佳作でも僥倖だと喜んでゐる次第です。

人相と手相を語る ―(N)―

森田英道

(問)…損失散財の前兆は?

(答)…第一圖の小鼻や、第二圖の「1」の部分に、

一、煤煙でヨゴレた様な色が現はれると大損失をする前兆です、昨日の百萬長者も今日は裏店住と云ふ様な大失敗の豫告ですから、冒險的投資は絶對に愼まなければ身の破滅となります。此の相が現はれた時は金錢上の事は、投資にせよ、債務の保證にせよ愼しむ事が大切です。

二、青色の血色や、白味がかつた血色が現れると、金錢上の損失を招きます。

三、鼻や、眉の上「1」の部分に、小さいニキビの様な吹出物が現はれると損失を招きます。又は思わぬ支出、費が多いものです。

四、右の場所に、赤い點や、赤い筋が現われても、支出費が多くて仲々金が溜らないものです四項迄の相が現はれてゐる人が相場や思惑をやれば見事に失敗します相場や思惑で一向儲からず損ばかりやつてゐる人や、商賣が一向思はしくない人には一から四迄の相が現われてゐます。

第三圖

(問)…手相の金運はどこに現はれますか?

(答)…第三圖の如く食指の爪の中央に丸い白色の點が現はるれば相當大きい金運が舞ひ込みます。左手に現はるれば他動的な僥倖的金運です右手に現はるれば、自發的意志に原因する自己の努力に依つて意外な金運を摑みます第四圖の「イ」の場所に

一、薄紅色が現はれた時

二、針で差した様な眞紅の赤點が現れた時

三、黄色く潤つた色が現はれた時

三項迄の相が現はれると金運が訪れます。第三項の場合は大財が儲かるものです。此の場所が青い色、又は青味がかつた薄黒い色をしてゐる人は、當時小遣錢にさへ不自由をしてゐるものですから、物はためし先づ實驗して見て下さい。

特に薄黒い色が現はれると破産して不動産を賣抑する様な失敗運の前兆です。半分薄黒色を帶び、半分は薄紅色ならば、今の内に整理をすれば半分の不動産を賣抑した丈けで半分位の資産は殘ります。

第四圖 (イ・ロ・ハ)

第四圖

ロの部分に薄紅色が現はれると家業繁昌、利得漸增の吉兆です。此の部分に青色が現はれて、ハの場所に灰色の様は白色が現はれると、失職、失業して流轉の生活に落ち入ります。

第四圖

ハの部分は針を差した様な紅點が現われ、其の周圍を薄紅色か、黄潤色で取り卷く時は、意外の大儲けがある、相場は買一貫で巨利を得る、ガラも採票も買つて見る事だ、勤人生活者に此の相が現はれると意外の拔擢だ一躍昇進榮轉する、商人は巨利を得、政治家は大臣の榮位に昇る位の大幸運が訪れるものです。

吾妻八景

午後七時東京からの長唄

吉住小三枝 外

唄	吉住小三枝
	吉住小玉
三味線	吉住小三濱
上調子	吉住小米

【解說】「吾妻八景」は文政十二年四月、池の端の六翁がまだ四代目杵屋六三郎といつた時代の作曲で、この唄の出來た時には「何んだ、あれが長唄かい」といはれた程に、當時の劇場音樂式の長唄とは氣分と風韻を異にしたものであつたが、今日になつてみると、優雅で粹ですんなりと好く出來た曲であることが判る唄も所の多いばかりでなく絃の方でも儲かる曲で佃と、砧と、樂と、長い合方が三つもあるから、三味線彈も十分に腕を揮ふことが出來る。吾妻八景といつても必ずしも八景に限つた譯ではない、日本橋を振り出しに、先づ南の御殿山から、高輪、それから駿河台、お茶の水、北へ飛んで淺草の本願寺、宮戸川、淺草寺、隅田川、衣紋坂、吉原、引返して上野忍ケ岡、不忍の辨財天など江戸の名所をつぎつぎに詠み込んである(上調上もある)

◇……◇

前彈キ本調子「實に豐かなる日の本の橘の袂の初霞、江戸紫の曙染めや合「水上白き雪の富士、雲の袖なる芝の波 合「目許美し御所櫻、御殿山なす人群の、かをりに醉ひし園の蝶、花のかざしを垣間見に。青簾の小舟、謠ふ小唄の聲高輪に佃の合方二上リ「遙か彼方のほととぎす、初音かけたか羽衣の、松は天女の戲れを、三保にたとへて駿河の名ある、臺の餘勢の彌高く見下す岸の淺守、日を背負ひたる阿彌陀笠、法のかたへの宮戸川、流れ渡りに色々の、花の錦の淺草や、御寺をよそに浮れ男は何地へそれし矢大神、紋日に當る辻占の、松葉かんざし二筋の、道のいしぶみ露踏み分けて、含む矢立の墨田川、目につく秋の七草に、拍子通はす抵砧 砧の合方三下リ「忍ぶ文字摺亂るる雁の玉草に 合「便りを聞かん封じ目を、きりの渡しに棹さす舟も、いつ越えたやら衣紋坂、見世淸搔に引き寄せられて 合「つい居續けの朝の雪、積り積りて情の深み、戀の關所も忍ぶが岡の、蓮によれる糸竹の、調べゆかしき浮島の、濁なすもとに寵りせば 樂合方「樂の音共に東叡よりも、風が降らする花紅葉、手に手合せて貴賤の誓ひ、辯財天の御影もる、池のほとりの尊くも、巡りて見ん八ツの名所

子供の時間

【後五時】

JOAK唱歌隊の合唱【東京】

伴奏 日の丸管絃樂團

一、美しきわが子やいづこ(小學唱歌) 草川信編曲 伴奏編曲 飯田 貫 指揮 吉原 規

(一)うつくしきわが子やいづこ うつくしきわがかみの子は 弓とりて君のみさきに いさみたちてわかれ行きにけり

(二)うつくしきわが子やいづこ うつくしきわがなかのこは 太刀はきて君のみもとに いさみたちてわかれ行きにけり

(三)うつくしきわが子やいづこ うつくしきわがすゑの子は 矛とりて君のみあとに いさみたちてわかれ行きにけり

二、旅の夜 ルビンシュタイン作曲 水島三郎作詞

(一)み空の遠方郷里とほみ 振りさけ見る わが瞳に山脈てる 月影の むなしくたゞ 冴えわたる

(二)衣の袖 片敷きて 木蔭にいね 野にふしつ 幾夜かへし 旅まくら 野末をわたる 小夜あらし わびしくたゞ すさびつゝ

三、浦のあけくれ マッチンギ作曲 北村季晴作詞

(甲)むらさきの横雲は 空にたなびきたり 海は今さめて 夢路の闇を出でぬ
(合唱)寄りくる波 かへる波 さらり さらゝと響き 松の風 そよと吹く のどかなるけふの海や
(乙)網をつゞる翁のかげ あたゝかなり岸邊 沖には白帆ぞ 雲に消えゆく
(合唱)寄りくる波かへる波 さらり さらと響き
(丙)海士の囀り黄昏れつゝ 燈火は見れ初めぬ ほのかに月さへ磯馴の松に
(合唱)寄りくる波かへる波 さらりさらと響き 松の風そよと吹く のどかなるけふの海や

四、寄宿舍の古釣瓶 中學唱歌 山田耕作編曲

(一)縄こそ朽ちたれこの古釣瓶 オヽこそいためれ此古釣瓶 學期試驗の準備につとめし 幾千の學生が苦しむ頭腦 冷して癒さん氷となりぬ 彼等が事業を助けん爲に 雨の日雪の日つるべのなは 休まる時なく汲まれしつるべ 屋根もる月こそ昔を知らめ

五、あはれの少女 フオスター ドヴオルザーク作曲 大和田建樹作歌 獨唱 小森智慧子

(一)吹きまく風はかほど裂き 見るみる雪は地にみちぬ あはれす足のをとめ子よ 別れし母をよばふらん

(二)つゞれのきぬのやれまより 身を刺す寒さいかほどぞ あはれぬれゆくをとめ子よ 世になき家をしのぶらん

(三)こがねの柱玉の床 世界は同じうちなるに あはれこゞえしをとめ子よ たゝずむ軒もうづもれぬ

六、ドナウ河の波 イヴァノヴィチ作曲 堀内敬三作詞

ゆふべとなれば美し ドナウの水の薄明り 遠き方の山はもやに薄れて 里に烟たなびき 細き月は今しも輝き出づ わが乘る船は靜に ドナウの波を分けゆく

七、箱根の山 中學唱歌 山田耕作編曲 (歌詞略)

小唄

【後八時京都より】

唄 春日とよ香
三味線 春日とよ美代

一、をしどり(本調子) をしどりの飛び立つ程に思へども、とはれぬつらさ待ちわびて、無理に合せた疊算、じれて迷ふてじれて煙管に齒のあとが夜明けの星の二つ三つ四つ

二、つがひはなれぬ(二上り) つがひはなれぬをしどりはちつと古いぢやないかいな 春は花、秋の月ほどまん丸な仇な浮世に墨田川、よいのさ〳〵仇な〳〵浮世に墨田川

三、主さんと(本調子) 主さんと郎の浮名も立やすく、風の噂やうたてや辛や流れの身こそ夜を花と、比翼連理の二挺立とぼして雪の肌と肌、戀の習ひの心太く切るといふ字は習やせぬ

四、いつしかに(本調子) いつしかに、緣は深川なれそめて、せけば逢ひたし逢へば又、浮名立つかや遺瀨なや、それが苦界ぢやないかいな、兎角浮世は花と酒浮名たつともまゝのかは、浮いた世界ぢやないかいな

五、水の出端(本調子) みづのでばなと二人が仲はせかれあはれぬ身の因果、たとへどなたの意見でも、思ひおもひ切る氣は更に無い

六、ながい浮世(本調子) 長い浮世に短い命、黄金の花が咲かふとも、持つちや行かれずえゝまゝよ捨てとけほつとけ

文藝

秋はバスに乘つて（日記帖より）

細川明

めづらしく霧だつた、小雨のせいかも知れない、お天氣はどうでせうかと義姉に訊ねると、霧ですからすぐ晴れるでせう、レインコートだけ持つていらつしやいと云つた、濃霧の垂れこめた街はいつもの街の風景と變つて居た、それに曉なので、新京特有の黄塵もなく、久しぶりで、人間並な氣持ちで、馬車に乘つてゆけるのは愉快だつた

今新京交通會社主催、新京日日新聞社後援の腰站見學團に參加するために馬車で急いで居るのである

朝の國都建設局屋上は非常によく、國都の全貌を展望するに適當な場所だつた

霧は少しづゝ晴れてきて、南新京驛の方はぼんやり見え初めた「伸びゆく新京」は手にとるやうに見える、近くの電々會社の大建築物はシークな姿で沈默をつゞけて居るかと思ふと、今、竣工中の中央銀行では營々として活動を開始して居る、朝の空氣を破つて、力强き活動なのだ

二十數台のバス、自動車、トラック、オートバイの進行は所謂蜿蜒長蛇で興安大路を眞直ぐ進んだ

―壯觀ですね

―えゝ、愉快ですな

同乘の人々が會話する、途中、こんな所にと思ふやうな場所に家がたてられてある、國都建設局のプラン通りに新京は伸びてゆくのである、本年中に二七〇〇個の建物は完成するさうだ、

興仁大路を吾々の一行が進んでゆくと、と五六頭の牛を放してそのあとからのんびりと歩んで來る支那人をながめた、牛は默々として進んでゆく、平和な雰圍氣なのだ、まだ、霧は充分晴れてゐない

大同大街から盤若路、南嶺南關を經て、京吉國道に入り伊通街道に出た、晴れた平野の中を悠々と鳥の群がとんで居る、何處か京都邊りの郊外をドライブして居るやうな氣がするのである

道路の側にある農家から粗服にまとわれた子供が出て來た、兄妹である、妹はぢつと可愛い瞳を見張つて、羨望に近い感情でながめて居る、兄の方は最初氣付いた時は不思議さうに眺めて居たが暫らくすると、につこり笑つて、一行の賑かに手をあげて合圖をした、バスの中から何か云つたのであらう、こんどは何かわからないことを云つて、獨りで喜んで居るのである、無邪氣な樣子は可愛いかつた

ぼくはその少年にある親しみを感じた。いや、羨望―近い感情と云つた方が適當かも知れない。

「人が自然を離れゝば離れる程、人の幸福は失はれ、自然の美もまた失はれる、人は自然に歸ることによつて、その幸福を取戻し、自然は人間を通譯者として、その美を語る」とは有名なラスキンの言葉だが、この滿洲の子供には自然を喫して居る微笑が充分にうかんで居るではないか？電車、機械、汽笛の金屬性雜音のために自然の基調が擾亂され、靑空と丘と新綠の風を忘れてしまつた子供達ではないのだ、大自然の抱擁のもとに力强くのびゆく子供なのだ。

ふと、バスの中から過ぎ去つた少年の姿をながめた。見ると、相變らず、手をあげてこちらに合圖して居るのが少さく見えた。

―まあ!!

と思はず感嘆の聲を放したのはぼくの側に居る奧樣だ

何年ぶりでせう、水を見ないのは……

吾々の眼前に水滿々たる淨月潭が展開して居るのである。

―まア

もう一度奧樣は感嘆を洩らした、ぼくはその時、奧樣の瞳は子供ぽつく見えるのを不思議に思つた。女は情熱にかられると年齡より若く見えるものだと云ふ結論に達したのは實にこの時である。

―惡くないな

滿洲國の官吏らしい、一体今の青年は「いゝとか」「素晴らしい」とか云はないやうである尤も、「この惡くないね」にふくまれた意味は西洋人か風光佳絶な場所などで、思はず發する感嘆詞「オ・スプレンデイド」と同一の意味である。

彼の友人は「人工と自然との調和美を白パーセント表はれて居るね」と答へた

ぼくも水の充滿して居る淨月潭をながめ、周圍の風光を眺めて「惡くないね」と心のうちで叫んだ、新京にこんな所があるのが不思議な氣さへした。

自由散策の時になつて、山の上から水をながめた、すつかり晴れ渡つた蒼穹のもと淨月潭は靜かに秋の陽光を浴びて輝いて居た。子供達は運動會だと云ふので、キヤキヤ叫んで居る

ぼくはぢつと眼下に展開された風景をながめながら秋の空氣を滿喫するために大きく呼吸した。

×　×　×

義姉は台所で夕食の用意に餘念がない、今日一緒に見學團に參加した中學一年の哲は豫習をして居る。

―どうだつた哲ちやん、今日のハイキングは……

―愉快だつたね、

行つてよかつたと思つた、

そう!!哲ちやんがよかつたと云ふんだから餘程よかつたんだわね

そして、義姉の笑ひ聲が台所で響いて居た、何日何處へ行つても「つまらないや」とか「損をした」とか云ふのはこの子供のくせなのである

―面白かつたね、兄ちやんぼく。休憩時間がもつと長い方がいゝと思ふけれど…

それが不平らしい

面白かつたね、屢々あるといゝね

ぼくは答へた。

そとは夕闇が垂れ込めてきた、哲は讀書して居る、義姉は台所でコトコト夕食の用意をして居る。（九、二三、）

モンゴールの幻想

瀧京二

鵬の群はわたしの頭上に輪を描いてゐる
わたしは聖者のやうに淋しく漠原を歩まう

鵬の羣は亂れる　わたしに何を啓示するのだらう
わたしは礫を拾ひ集めて文字を編まう
風は烈しくわたしの言葉を吹き飛ばしてしまふから

オリエンタル　イメイヂ
祈りからの夕映えにさつとこの言葉は彼方の砂丘に反映した

爆撃機　「小林多喜二賞」について

文藝懇話會賞、芥川、直木賞が出揃つたあと、何やかやと論議喧しきことではある。プロレタリア派で「小林多喜二賞」を出す計畫があるといふ。（「文藝」十月號一七〇頁參照）

それについて、前揭「文藝」の「五行言」の筆者はだが、今の文壇に小林の名を恥かしめないだけの作品があるかないかは第二段として、それを審査する資格のあるものが果して、幾人ゐるだらうか。まさか藏原を動員するわけにもゆくまい。

と揶揄的に書いてゐる審査の方法について提言しようよろしく大衆投票に依るべし。政府が一心に提唱してゐる例の「赤心一票」をこの場合にこそ試みるべしだ。（大内隆雄）

或書生の手記（2回）

濱本貴美子

三月も、もうすぐ逝つてしまうと云ふのに珍らしい大雪が降つた、四寸以上は積つたと思ふ、然しさすがに春だ、その雪のすぐ下から綠色の草だ蒸返る樣な土の香と一緒に此處彼處と芽をふいてゐる。

子爵貴族院議員の「大旦那樣」は此頃は毎日議院に發院するし、夫人の病氣も暖くなつて大部よくなつたとか、此頃は時々階下のサンルームで日光浴をしてゐる姿が見けられる、この二月に結婚した「若旦那樣」と呼ばれるやうになつた長男の和加男は新らしく出來たと云ふ鎌倉の別莊の方へ西洋人形としか形容の出來ない美しい若夫人を連れて、女中頭のお千代とトラック三台の荷物とをしたがへて別居するし、それに私の一番遊び相手、謂はゞまあよき話相手にしてくれる俊夫樣は美術學校を卒業して、中央線の西荻窪にアトリエを持つやうになつたし近頃は大抵俊夫樣のお伴をし夕方迄掃除をし、一緒に歸つて來る、邸を一歩出ると何となくうちとけてくれるのもうれしい事の一つだそれにしても四間に五間のアトリエの床を毎朝ふかされるのにはかなわない、それは兎も角として千駄ヶ谷の邸の樣に手入の行屆いてゐない庭、否、空地、雜木林と言ふ方が適當かも分らない廣漠とした庭の掃除にはまるでがつかりさせられる。それも最近では自分であきらめたがそれとも馴れてしまつたのかそう苦勞の種にもならなくなつたが…：そして末つ子の體樣はK大の本科へ進むその他、豊の愛犬メリーが死んでしまつたね そしてミーヤ三匹の可愛らしい仔猫を産んで、シエパードのロリーが新らしく飼はれる樣になつた、外觀靜寂そのものゝコンクリートの塀の中はめまぐるしいほど變つて行く

……

言ひ後れたが私は夜學とはいへW大の附屬工業學校へ席をおく樣になつた、小倉のヨレヨレの小學生ぢみた洋服は黑セルの折目のきちんと付いた學生服に變り、魚屋の兄チヤン連の愛用するゴムの長靴は物置の隅に影をひそめ、ドイツボックスの素晴らしい編上を其變りに穿いてゐる姿は往年の私とはどうしても思はれぬ、俊夫樣のおさがりとはいへ鹿皮の手提げを通學用にちやんと備へてゐる今なのだ

そして故郷の兩親が御主人樣へ差上げる樣にと見事な箱詰の苺を送つてよこす季節となつた。

このあいだの日ようび

西廣場校尋二　笛木孝子

私はこのあいだの日ようびに學校ごつこをしてあそびました。そこへ泰夫さんがきましてブランコであそびました。それで學校ごつこをやめてブランコであそびましたしばらくすると十二時のブウがなつたのでおひるごはんをたべてこんどはダイヤモンドゲームをしてあそびました。

そうしたら私がかつてばかりゐたので美惠子さんがおこつてやめてしまひました。ですから私はお父さんとにいちやんとしました。こんどは私がまけるやうになりましたやめてから私はちようめんをもらひましたそのちようめんにゑをかいてお父さんに見せててんをつけてもらひますと四ぢゆうまると三ぢゆうまるばかりでみんなうまいうまいとかいてありました。

書架

本欄新刊紹介希望の向きは本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

▲春明書荘（八月號）第三號で「綜合目錄」の特輯四六判十六頁のなかに主として支那研究のための書目がぎつしり擧げてある（新京東一條通一六、春明書莊）

▲滿鐵調査月報（八月號）内容については學藝欄に別に書くこととし、取あへず目次だけをあげてをく、調査及研究に「滿洲國成立後に於ける商租權」「山東の一農村に於ける社會經濟事情」「需要上より觀たる滿洲石炭の過去現在及將來」資料に「滿洲都市產業の現狀張家口事情」「マチヤール・支那農業經濟」外に時事雜錄、重要日誌、法規及命令、諸統計、新著資料目錄、新著圖書重要記事索引等（大連市東公園町、南滿洲鐵道株式會社、八十錢）

▲講談落語界（十月號）娛樂雜誌として上乘の出來である、森曉紅「アマチュア畫伯」森晴雄「劇場の殺人」その他埋め草記事も良い（東京市麹町二丁目一四講談落語社、三十五錢）

▲蒙古事情概要（滿洲事情案内所報告二四）内容については別に詳しく誰かに書いて貰はう、ここでは本書が蒙古事情研究會員西藤辰雄氏により蒙古の全般的事情に關してその概要を把持するための指針として書かれた寫眞、略圖入り菊判一一八頁の本であること、一般的記述の後にある蒙古の地名概要、蒙古に關する圖書概要の二附錄だけでも大いに尊重すべき勞作であることを書いてをく（新京中央通六滿洲事情案内所三十錢）

榮冠を競ふ若人
男女實に千名參加
豪華第四回全滿体育大會 愈よ明日から開く

スポーツの—

奉天、吉林、哈爾濱、濱江、熱河、龍江、錦州、安東、新京の七省二市の代表選手を蒐めて擧行される第四回全國体育大會は大滿洲帝國体育聯盟主催の下に愈々廿八、九兩日をトして南嶺國立運動場に於て陸上競技、排球、籠球の三選手權、ラグビー、蹴球の三公開試合、軟式野球、と六競技の爭覇を行ふことになつたが此の日榮冠を闘ひとるべく集まる陸の猛者は男女選手合せて千余名に上るもので、秋空の下にスポーツの大繪卷が展開されることゝ注目されてゐる、尙當日は全市民の秋の行樂を兼ね一日に利便すべくバスの增發も行はれ南嶺一帶は盛大な人出を呈することであらう

地元新京出場選手

地元新京では去る廿四日南嶺運動場に於ける新京排、籠球選手權大會の結果、左の男、女選手が全國体育大會出場新京代表選手として、大滿洲帝國排球協會、同じく籠球協會に於て決定した

▲男、籠球選手　RF于江　RG趙國　C貴廷　LF王永芳　RG于泰　（補欠）沈銘書、閻守仁

▲男子排球選手　張寶山、趙振興、李克勤、張廣祿、貴廷、胡守成、沙成洲、寧和謙、于中、王樹生、楊惠春、呂寧

▲同女子選手　坂口、岡田、竹野、先崎、川野、伊藤、青木、山下、井田、濱崎

友の會の活動

新京友の會では毎回成績をあげてゐる廢物利用を目的とした友愛セールの第三回を來る廿九日祝町太子堂で開催する事となつた、友の會は羽仁もと子女史を會長とするもので其の社會奉仕の一端としての試みに各地の同會で友愛セールを開催してゐるが會員の重復した貰ひ物、小さくなつた子供の着物、柄の派手になつた着物、不用になつた家具等や會員の製作品を廉價でわけるものである

吉林ゆき觀光團　廿九日出發

ツーリストビューロー新京案內所主催、吉林鐵路局、吉林觀光協會共同後援で來る二十九日（日曜日）吉林ゆき團体を新京から三百名募集、吉林では松花江上で川遊び林間では芋掘り、希望者には滿洲鷄飼ひの見學まで盛り澤山な催し物あり、歸りのお土産にはどなたにも二貫目づゝ掘りたての新芋を其晩の皆さんの食膳に、出發は二十九日午前七時二十分かへりはその日の午後七時十分到着、會費大人三圓五十錢、小人二圓希望者はすぐビューローまで

發疹チブスも法定傳染病に
今後は傳染病棟入り

從來法定傳染病としての取扱をなしてゐなかつた所謂滿洲チブスについてはさきに滿鐵病院に於て開かれた關係醫院長會議で協議の結果今後發疹チブスとして申告し傳染病棟に收容法定傳染病として取扱ふことになつた

馬車は二人乘りで一劃三錢の事
改正料金はいよく認可

新京の庶民交通機關として一般市民に愛用されてゐる乘用馬車の料金は今まで大同二年に制定したものであつて其後國都建設計畫に伴ひ地域の擴張と經濟事情の著しき變化のため實際に適せぬので料金の改正をなすべく首都乘用馬車人力車組合では豫て左記の通り關東局へ認可申請中であつたが二十一日附認可され近く實施されることとなつた、改正料金は區劃制とし馬車には明瞭なる區劃地圖を貼付し、一見して料金が判然とし從來のやうなお客と馬車夫のトラブルは除かれ雙方とも非常に便利となつた、改正料金は左の如くである

▲市內一劃三錢「馬車一台に二人乘りとし一人を增す每に二割增とす」二劃內五錢三劃以上は一劃につき二錢—五劃の場合十錢といふが如し—▲寛城子三十錢▲東新京驛三十錢—市外は附屬地を起點とす—▲競馬場三十五錢往復料金は片道の二倍とす▲二道河子四十錢▲南嶺五十錢▲貸切一時間三十五錢（市內區域に限る）半日（五時間以內）一圓五十錢、一日（十時間以內）二圓八十錢▲時間待（十分每に五錢）▲割增—午後十二時以後一割增▲雨雪暴風の場合二割增▲手荷物—容積重量を見積り協定すること

傷病兵に奉仕した感心な理髮師
四人づれ表彰さる

滿洲事變以來毎月の公休日を利用して新京衛戍病院に療養中の名譽ある戰傷病者延人員數千名に上り無料調髮をつゞけて來た新京理髮師會の田邊己市、山內耕造、小田原正雄、松谷久吉の四氏は今回栅野新京衛戍病院長から篤行を賞する感謝狀を授與され四氏いづれも感激してゐる、尙右四氏は當時吉野町美容軒の職人として店主吉川政吉氏の非常な應援を得てゐたものであるが今はいづれも獨立して田邊、山田兩氏は公主嶺に、小田原氏は日本橋アパート內に、松谷氏は滿鐵菊水寮におのおの開業してゐる

吉川組員遭難
輯安で多數拉致さる

【關東局廿六日午後二時入電】—廿五日午前八時卅分頃輯安縣第八區大笣子溝附近にて橋梁工事中の吉川組員は紅匪楊司令の指揮する二百五十名の襲擊を受け吉川組員日本人荒木遠雄、宮本彌市の二氏、鮮人自動車運轉手二名、其他滿人六名拉致されたが工事警備中の滿軍は匪團と交戰敵匪を東南方に擊退したるもこの戰鬪にて滿軍一名戰死、三名重傷者を出した

青年學校專修科　入學締切迫る

二十三日から受付を開始した新京青年學校專修科（從來の實業補習學校）入學志望者は逐年語學熱の旺盛に赴くにつれて滿、露語をはじめ珠算、數學等の初等教育志望者も激增し二十六日までに二百余名に達したが、例年締切の間際になつて多數押しかけ混雜を呈するから成るべく速に手續をとつてほしいと、なほ本期からは商業關係者の要望に從つて新たに商事要項と簿記の兩科を新設し一般商店員の余暇を利用して勉學の希望に添ふことゝなつた

活佛一行活動見物

滯京中の甘珠爾瓦呼圖克圖（活佛）は廿六日午後二時國務院を訪問過般の大典觀艦式を軍政部の手で撮影したトーキーを總務廳試寫室で觀覽したが、生れて初めての活動寫眞で而も映畫は滿洲國の盛儀大典觀艦式なので威容豐かな滿洲國軍艦の光景には感嘆の聲を洩らし殊に皇帝の威厳ある姿が現れるや襟を正しうして見入つて居た、午後二時半終了と同時に直ちに退出したが隨行の人々と共に何事か肯き乍ら初めてみた活動寫眞に夢みる如き面持をみせてゐた

寫生講習會
宮坂、池邊兩氏を講師に 秋の郊外を探る

新京美術協會では國畫會々員帝國美術學校教授宮坂勝氏の來京を機として左記の如く寫生講習會を開催することになつた、同好多數の參加を要望してゐる

△講師　宮坂勝氏　池邊貞喜氏
△日時　廿八日（土）正午より、廿九日（日）午前九時より
△場所　一日目寛城子方面、二日目南嶺方面
△集合　廿八日零時卅分新京驛前　廿九日未定
△會費　一圓（茶話會費を含む）馬車代自辨
△申込所　市內中央通滿洲國協和會內（池邊宛）電四一三〇

新京美術協會　今夜發會式

新京美術協會準備會ではかねてより準備を進めてゐた同協會の發會式を廿七日午後六時半より市內益興樓において盛大に擧行することとなつた、入會希望者は至急申込れたいとのことである

新京衛生隊　ペストの備へ

京衛生隊ではなほ猖獗せる京大線沿線のペストに豫め備へるため二十五日から毎日農安方面からの列車旅客檢診のため係員一名を新京驛ホームに出張させてペストの國都侵入を未然に防ぐに萬遺漏なきを期してゐる

大鄭線ペスト終熄

大鄭線通遼附近のペスト發生に依り乘客禁止中であつたが漸く終熄したので、廿五日より解除一般乘客を取扱ふ事となつた

世界オリムピックに欣然參加せん
山本博士の勸誘に對し滿洲國の態度表明

去る八月廿七、八兩日ベルリンに開催された世界陸上競技聯盟會議に於て山本博士の盡力に依つて、滿洲國をソヴイエット聯邦と共に世界陸聯へ加盟する樣勸誘しようとの決議がなされ、右勸誘の使命が山本博士に託され博士が日本への歸途新京に立寄つて滿洲國體育當局に對し參加を勸誘した事は既報の通りである、滿洲國體育聯盟に於ては右勸誘に對しその後協議を進めてゐたが滿洲國としては世界オリムピツクへの參加はもとより望んだ處で世界陸聯より勸誘ありたるは滿洲國の世界スポーツ道場への進出の鍵となるべきものとして右勸誘に應ずる事となつたので廿六日理事長久米成夫氏談として滿洲國の態度を聲明する處あつた

慘澹たる高崎市
浸水家屋實に二千四百戶 水道も遂に危ふし

【高崎國通】廿四日來よりの群馬縣下一帶に亙る豪雨の爲全縣下浸水甚しく殊に碓氷川及び烏川氾濫の爲高崎市街は濁水の中に棟を沒し市民は何れも家財道具をその儘に各々家の二階、小學校等に避難、市內消防組、青年團等總出で必死の防水に當つたが流水家屋十三戶、床上七、八尺浸水家屋千五百戶床下浸水家屋九百戶に達した、市役所では二十六日朝炊出しを行ひ大方實踐女學校校舍に罹災者の收容を行つてをり慘澹たる光景を呈してゐる、急に應じ十五聯隊では兵を出動せしめ目覺ましい活躍を爲したが出動中の兵士八名は行衛不明となり內三名は死体となつて發見された、廿六日拂曉烏川の增水量は二丈一尺に達し橋梁多數流失損害多額に上る見込みである、一方水道水源池の濾過機に故障を生じ市民は洪水と斷水の危險に曝されてをり正午尙減水を見なかつたが雨は漸く熄んだので午後に至り漸次減水を見つゝある、尙救援作業中の巡査一名、青年團員一名も行衛不明となつた

前橋地方　流失家屋多數

【前橋國通】豪雨の爲前橋地方も被害甚大で敷島公園は野球場を中心として一大泥海と化し前橋より西上州に通ずる延長十町に亙る大當り橋は廿六日午前六時に至つて遂に流失した又碓氷川氾濫の爲碓氷郡の各町村に流失家屋多數あり、死者一名行方不明者多數を出した

野田町堤防決潰

【千葉國通】豪雨のため千葉縣野田町地先江戶川大增水し二十六日午前十時半頃遂に堤防約五十間程決潰したため濁水氾濫し民家五十餘戶押流された、又野田醬油會社の各工場にも浸水、貯藏中の醬油原料大豆、小麥は悉く流失し損害莫大の模樣である

常盤線鐵橋不通

【東京國通】東北線栗橋鐵橋の不通により東北と東京とを結ぶ唯一の道となつた常盤線安孫子、取手間の利根川鐵橋は二十六日午後一時に至り橋上二十六センチ浸水狀態となり危險に瀕したので工夫、在鄉軍人、青年團等總出動で警戒を行ひつゝ辛くも徐行運轉を行つてゐたが午後一時下り線は遂に運轉不能に陷入り上り線のみ徐行運轉してゐるがこれも間も無く不通となる見込みで東北線のダイヤは目茶々々となつた

大原候補　挨拶に來社

現地方委員會議長大原萬千百氏は再び立候補する事となり挨拶のため二十六日來社した

秋晴れに寛ぐお茶の會
南大將夫妻招待 官民の集ひ

關東軍司令官南大將夫妻は二十六日午後二時から官邸に日滿軍官民を招待茶の會を催したが、滿洲國側張總理始め各部大臣、總務廳長、參議各次長、司長其他日本側大使館關東局その他の首腦部夫人同伴で三百數十名參會、屋內庭園に茶だんでおでん、すし、酒、ビール、サイダー等の模擬店が開放され秋晴れの小春日和の陽光の下南夫妻が彼方こなたの團欒を訪れ寛いで歡談盛會裡に一時間余で散會した（寫眞上は會場と下は左から南軍司令官令孃夫人）

衛生技術廠官制改正

議に國務院會議を通過した衛生技術廠官制の改正は廿七日公布される事になつた、內容は同廠制定當初は主としてハルビン分廠の事務に從事せしむる爲定員が少數であつたが本年度に於て本廠開設に伴ふ定員を增加するもので、左の如く決定した

廠長　簡任
技正　三人　薦任
事務官　二人　薦任
技佐　四人　委任
屬官　四人
技士　十一人　委任

不正乘車發覺

チチハル列車段司事兼通譯梅玉璽は二十五日沙河口から友人沙河口驛々手周應年長男國玉名義の滿鐵三等職業パスを借りて新京まで不正乘車し、二十六日午後二時着列車で當ハルビンゆき列車を待合せ中二等待合室で驛詰吳巡捕が擧動不審のため詰所に同行取調べたるに右不正乘車發覺し、梅は驛側に引渡された、驛では同區間運賃及び追徵金をとつて嚴重說諭の上ハルビンの友人の許にかへした

入江理氏　引繼に赴哈

ハルビン鐵路局福祉課衛生係主任に榮轉した前新京醫院庶務長入江理氏は二十六日午後五時四十分發あじあで一先づ任地に顏出しのため出發したなほ一兩日中歸京の後正式赴任の日を決定する

炭業鮮滿視察團一行

二十五日來京した炭業鮮滿視察團一行二十六名は午前九時より關東軍司令部、總務廳、軍政部、實業部、外交部を歷訪しこの間代表者の三名は皇帝に謁見を賜はつた、夜は炭礦會社の招宴に臨み、二十七日午前九時五分發の列車でハルビンに向ふ筈

經理勝つ　地事野球戰

ODクラブ主催各係對抗秋季リーグ戰公賣對經理の決勝戰は二十六日午後四時よりCDグラウンド水谷（球）伊関、永田（壘）三審判の下に經理先攻で開始、接戰五回を交へた後日沒のため七對五でコールドゲームとなり經理に凱歌があがつた閉戰六時、試合終了後同グラウンドで慰安宴を開催した、スコアー、メムバー左の如し

						計
經理	4	0	1	1	1	7
公賣	1	0	1	1	2	5

（經理）西川(2) 木村(8) 山崎(3) 川田(1) 近藤(6) 北崎(4) 前田(9) 濱邊(7) 山本(5)

（公賣）伊藤(1) 赤津(2) 白石(6) 岩切(7) 綿引(5) 森尾(3) 橫津(8) 深藤(4) 佐[illegible](9)

中銀週報　自十五日至二十一日

	圓
貨幣發行額	[illegible]
紙幣	[illegible]
準備	[illegible]
保證	[illegible]
鑄幣	[illegible]

埼玉縣人大野遊會開催

今般縣人各位懇親の爲左記の通り家族大野遊會を開催致します尙既入會者には別に案內狀差出しましたが未入會者共も御誘合せ多數御參會被下樣以紙上御案內申上げます

一、日時　九月二十九日午前十時より
一、場所　西公園廣場
一、會費　不用（但未入會者に限り一圓）
一、辨當　各自御持參の事

●酒、サイダ、おでん、すし、ぜんざい、うどん、菓子、福引券等會にて準備しあり
●但雨天の場合太子堂階上に變更

尙前會長遠藤柳作氏辭任につき今般現大野關東局長閣下に會長就任願ひ御出席を御願してあります

在新京　埼玉縣人會　御問合せは電二五三八番

第二回決算報告
貸借對照表（昭和十年六月三十日現在）

資産ノ部	圓
固定資産	[illegible]
發變電所	[illegible]
送電線路	[illegible]
配電線路	[illegible]
屋內電線設備	[illegible]
諸施設	[illegible]
建設工事假勘定	[illegible]
關係會社投資	[illegible]
關係會社有價證券	[illegible]
關係會社貸付金	[illegible]
流動資産	[illegible]
貯藏品	[illegible]
商品	[illegible]
未收金	[illegible]
有價證券	[illegible]
受取手形	[illegible]
差入保證金	[illegible]
預金	[illegible]
爲替勘定	[illegible]
現金	[illegible]
雜勘定	[illegible]
假拂金	[illegible]
創立費	[illegible]
受入證券	[illegible]
保證債務見返	[illegible]
計	[illegible]

負債ノ部	圓
株主勘定	[illegible]
資本金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
從業員退職給與積立金	[illegible]
短期負債	[illegible]
未拂金	[illegible]
受入保證金	[illegible]
社員貯金	[illegible]
社員身元保證金	[illegible]
社員共濟勘定	[illegible]
雜勘定	[illegible]
假受金	[illegible]
差入證券	[illegible]
貨幣交換剩餘	[illegible]
保證債務	[illegible]
當期利益金	[illegible]
前期繰越益金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
計	[illegible]

利益金處分

一、金四百九萬六百七十一圓八十二錢　當期利益金

右利益金ヲ處分スルコト次ノ如シ

一、金三十九萬圓　法定積立金
一、金十萬圓　從業員退職給與積立金
一、金八萬圓　役員賞與金
一、金二百七十萬圓　株主配當金
一、金二十萬圓　爲替差損補塡積立金
一、金三十五萬圓　特別積立金
一、金二十七萬六百七十一圓八十二錢　後期繰越金

右之通候也

昭和十年九月二十六日

滿洲電業株式會社

社長　吉田豐彥
副社長　入江正太郎
常務取締役　孫澂
常務取締役　小池[illegible]
常務取締役　高橋[illegible]
取締役　王聘之
取締役　林[illegible]
取締役　岡村金[illegible]
取締役　[illegible]
取締役　[illegible]
取締役　[illegible]
常任監查役　高橋武一
監查役　巴英顯
監查役　谷川善次郎

右調查候處相違無之候也

愛よ戰ひとれ

福田正夫 作　武久 畫

(四十)

吹雪(三)

「大瀬さん、一言位、口をきいて下すつても、いゝじやありませんの?——」

勝美は那雄に近づいた。

「や!」

那雄はさつと頰を赤らめた。

「御挨拶をしそびれたのです」

「さう……」

勝美はそれでも群集に遠慮して一歩退いた彼を怨めしげにみつめたばかりで、

「私、あなたのお所をたづねてゐたのよ。さうしたら今日でしよ、——すぐに本郷へ行つたら、こゝから出發つて!」

「お前、大瀬君の見送りなのか」

俊一はうれしさうだつた。妹が、異性に對して、それまで深く感じてゐることが、彼にはめづらしく思はれたのである。

「そりやあ濟まなかつた。……僕は偶然出逢つたとばかり考へたんだよ。恩を忘れないのはいゝことだ」

「恩ですつて……」

勝美の方が驚いて、——でもすぐに兄の心持をつかんだ。

「さうよ、大瀬さんには、私の身體ごと上げたつていゝつもりよ」

「おや!」

俊一は一寸すさつて默つてしまつた。

「大瀬さん!」

勝美の瞳が熱く燃え上つた。

「ねえ、一日のばして下さらない、私、まだ、しみじみとお禮も申し上げて無いんですもの……兄さん、あんたもさうするやうにいつてよ」

「大瀬君、此處に御馳走させようか?」

俊一はからからと笑つた。が、凡てを見ぬいた兄の笑ひは、なにか神秘なものを那雄にひゞかせた。

「どうだね」

俊一は重ねた。

「君さへよければ……」

彼は那雄の心持を知りたくて、氣を引いたのである。

那雄は氣まづいものをそこに感じた。その日の勝美は美しく輝いてはゐたが、それは服飾の盛り上げたもので、家にあつての奔放なものが、匿のやうなものでかくされてゐた。彼が清らかな故郷の光景をあこがれてゐる時に、彼女があらはれたのは、食にあきたものゝ前に脂肪食を見せるやうな、矛盾があつた。しかも自分勝手に彼を引止めようとするのである。

彼は颯爽として勝美をみつめた。

「僕には豫定がありますので……」

「變へられませんの?」

「えゝ!」

「これほどお願ひしても?」

「よせ!」

かつと怒つて、頰を熱くした勝美に、俊一がいつたのである。

「無作法過ぎるぞ、勝美!」

「いゝわ、いゝわよ」

彼女は唇をかみしめて那雄をみつめてゐたが、なにを考へたのかくるりとふり向いて歩き出した。

「かにしたまへ、大瀬君。……我儘に育つてる馬鹿だ」

「いや!」

彼等はそれを見送つて、すぐに改札口を這入つた。

やがて三等の座席についた那雄と窓の外の俊一とは、勝美が來てかまはず車内に乗り込むのを見た。彼女はすぐ那雄のそばに坐つてしまつたのである。